

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	中央放射線室
調達機器名	磁気共鳴画像診断装置 一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	超電導型全身用MRI装置(本体)	1式
1-2	超電導型全身用MRI装置(1.5T磁石・傾斜磁場システム)	1式
1-3	MRIシステム用ソフトウェア	1式
1-4	高性能画像再構成オプション	1式
1-5	ワイヤレス生体同期システム	1式
1-6	低テーブル固定患者寝台	1式
1-7	画質向上ディープラーニング画像再構成 ディープラーニングまたは機械学習を使用した自動位置決め	1式
1-8	圧縮センシング	1式
1-9	MRスベクトロスコープパッケージ	1式
1-10	PRESS & STEAM SV	1式
1-11	2D CSI	1式
1-12	3D CSI	1式
1-13	・2 point dixonとview sharingを応用した高速3Dグレイミックス ・Stack of Starsによる体動に強いハイブリッド型の3D Radialグラデーションエコーシーケンス	1式
1-14	高速化型ディープラーニング画像再構成技術	1式
1-15	3D動き補正	1式
1-16	非造影脳灌流撮像(3D ASL)	1式
1-17	3D冠動脈撮像シーケンス	1式
1-18	心筋T1map、T2map	1式
1-19	血管壁撮像シーケンス	1式
1-20	血流解析ソフトウェア	1式
1-21	局所高分解能DWI	1式
1-22	3D撮像を関心領域に絞る撮像	1式
1-23	脂肪・鉄定量解析シーケンス	1式
1-24	マルチコントラスト同時取得シーケンス	1式
1-25	Computed DWI	1式
1-26	マルチショットDWI	1式
1-27	骨撮像用シーケンス	1式

1-28	極性反転によるDWI歪み補正	1式
1-29	静音撮像	1式
1-30	乳腺用造影撮像シーケンス	1式
1-31	体幹部用コイル	2式
1-32	ファントムホルダ	1式
1-33	撮影に伴う専用固定具	1式
1-34	8ch手関節用コイル	1式
1-35	1.5T用乳房用コイル	1式
1-36	MRI用冷却水循環装置	1式
1-37	冷却水装置用防振台	1式
1-38	操作マニュアルセット	1式
1-39	MRI標準付属品セット	1式
1-40	MR室コイル棚	1式
1-41	ハンドタイプ金属探知器	1式
1-42	患者監視モニタ	1式
1-43	酸素濃度計	1式
1-44	オペレータテーブル、オペレータチェア	1式
1-45	MRI対応音響システム	1式
1-46	非磁性ストレッチャー(MR-100)	1式
1-47	非磁性車椅子(MRI対応)	1式
1-48	非磁性点滴スタンド	1式
1-49	製品識別用パネ	1式
1-50	MRI対応患者モニタセット	1式
1-51	MRI装置搬入・据付・調整	1式
1-52	MRI導入時トレーニング(5日以上)	1式
1-53	DICOM接続設定(7台以下)	1式
1-54	RIS接続設定作業	1式
1-55	MRI対応生体モニタ	1式
1-56	携帯型金属探知器(MRI室用)	1式
1-57	据置型金属探知器(MRI室用)	1式
1-58	MRI対応造影剤インジェクター	1式
1-59	患者固定用ベルト	1式
1-60	患者固定用ベルト	1式
1-61	RF遮蔽シート	1式
1-62	患者移乗用スライディングシート	1式
1-63	他社システム接続作業	1式
1-64	MRI装置設置工事	1式

2. 機器の仕様

2-1	磁気共鳴画像診断装置については、以下の要件を満たすこと
2-1-1	ガントリ・マグネットシステムについては、以下の要件を満たすこと
2-1-1-1	マグネット形式は、超伝導方式で静磁場強度が1.5Tであること
2-1-1-2	磁場の均一度を向上させるシング機能及び患者毎の自動シング機能を有すること
2-1-1-3	静磁場の安定度は、0.1ppm/h未満であること
2-1-1-4	静磁場の均一度は、40cmDSVにおいて0.33ppm以下であること。不可の場合、1次および2次成分を補正可能なハイパーシム(5ch以上)もしくは、液体ヘリウム使用量が10リットル以下のマグネットを有すること
2-1-1-5	液体ヘリウムの消費は、通常稼働時に0ℓ/yearであること
2-1-1-6	ボア内径は直径70cm以上であること
2-1-1-7	患者との相互コミュニケーションを行うため、エマージェンシーコール機能を有すること
2-1-1-8	患者の快適性を確保するためガントリ内照明・送風機能があり調整可能であること
2-1-1-9	患者対話用インターホン有すること
2-1-1-10	ガントリ両側にモニタを有し、患者の生体情報、接続コイルなどを表示可能な機能を有すること
2-1-1-11	緊急時に安全かつ迅速に主磁場を落とす機能を有すること
2-1-2	傾斜磁場システムについては、以下の要件を満たすこと
2-1-2-1	最大傾斜磁場強度は、X/Y/Z 3軸それぞれで35mT/m以上であること
2-1-2-2	最大傾斜磁場強度使用時の最大スlew率は、3軸それぞれで140mT/m/ms以上であること
2-1-2-3	低アコースティックノイズ設計となっていること
2-1-2-4	被験者の検査快適性を向上するため、3Dラジアル法をベースとしたデータ収集法によりMR検査室環境音に対して+3dB以下の騒音しか発生させない撮像法を有すること。また、当該撮像法の最短TEは20μsec以下であること。不可の場合、KOBATEL社のANC騒音キャンセリングヘッドホンを有すること
2-1-2-5	ZeroTEを用いたRadial収集法により、静音可能で、MR対応インプラントの場合金属アーチファクトの影響を低減した骨イメージが撮像可能であること。また、当該撮像法の最短TEは20μsec以下であること。不可の場合、骨イメージが撮像可能であることに加え、金属の有無を確認するため壁据付型磁性体探知装置を有すること
2-1-3	RFシステムおよびRFコイルについては、以下の要件を満たすこと
2-1-3-1	データ受信機構において、コイルで得られたアナログ信号は、ガントリ部でもしくはコイル部でデジタル信号に変換されていること
2-1-3-2	最大同時受信チャンネル数(同時接続数ではない)は64ch以上あること
2-1-3-3	16素子以上の単独の頭頸部用コイルを有すること
2-1-3-4	円背患者に対応するために頭頸部コイルは角度を付けて取り付けられるようにすること
2-1-3-5	24素子以上の寝台内蔵型全脊椎用コイルを有すること
2-1-3-6	16素子以上のINCAリヤーを搭載したコイル素子間干渉のない腹部用コイルを有すること。不可の場合、腹部用のコイルを2式以上有すること
2-1-3-7	8素子以上の両側乳房撮像用コイルを有しFeet Firstで検査が可能であること
2-1-3-8	大きさの異なる20素子以上のINCAリヤーを搭載したコイル素子間干渉のない全身に対応するフルボディコイルを有すること。不可の場合、16素子以上の膝関節用専用コイル、8素子以上の肩関節コイル、16素子以上の足関節専用コイルを有し、コイルの同時使用の幅を広げるため、最大同時受信チャンネル数(同時接続数ではない)を128素子以上とすること
2-1-3-9	固定性を高めるようハードタイプを含む足関節や膝関節などに対応する専用のポジションナーを2種類以上有すること
2-1-3-10	8素子以上の手関節用専用コイルを有すること
2-1-3-11	全てのコイルを収納可能な市販または自社製の棚もしくはカート有すること

2-1-4	患者テーブルについては、以下の要件を満たすこと
2-1-4-1	患者テーブルの最大耐荷重は200kg以上あり、テーブル上下動及び水平移動が行えること
2-1-4-2	最低テーブル高は49cm以下であること。不可の場合、非磁性体の手すり付きの踏み台を有すること
2-1-4-3	ガントリー側のフットパッドにて昇降が可能であること。不可の場合、検査スループット向上のため、非磁性ストレッチャーと車いすを2式有すること
2-1-5	制御システムについては、以下の要件を満たすこと
2-1-5-1	メインコンピュータはクロック周波数3.6GHz相当以上であること
2-1-5-2	オペレーションシステム(OS)が、コンピュータウイルスに強いLinux方式であること。不可の場合、常にウイルス対策を行い、定期的に最新のバージョンへアップデートすること。ウイルスに感染した場合は適切な対応を行うこと
2-1-5-3	イメージプロセッサ(HDやSSDではない)は、主記憶容量が96GB以上であること。不可の場合、1T以上の画像保存用中間サーバを有すること
2-1-5-4	画像計算時間(256×256マトリックス100%FOV)は、1秒間に60,000枚以上であること。不可の場合、画像処理を迅速に行うためにセントコンソールを用意すること
2-1-5-5	外部画像記憶装置として、DVDドライブを有すること。もしくはUSB接続したHDD等にDICOM形式で画像保存可能であること
2-1-6	本体操作コンソールについては、以下の要件を満たすこと
2-1-6-1	最大値投影法(以下「MIP」)、最小値投影法(以下「MinIP」)、多断面再構成(以下「MPR」)処理、ボリュームレンダリング(以下「VR」)処理、カーブドリフトフォーメーション処理が撮像と並行して操作コンソール上で行えること
2-1-6-2	撮像と読影及び画像処理の並行処理が可能であること
2-1-6-3	ターゲットMIPは、フリーハンドにて任意の領域設定が行えること
2-1-6-4	操作コンソールでのMIP画像作成において、3次元画像上及び2次元画像上にてマウスを長押しすることで、2種類のリージョンクローニング法にて太い血管、微細血管などを各々選択的に自動抽出する機能を有すること
2-1-6-5	別々に撮像された連続部位画像をつなぎ合わせる機能を有すること。また、重ね合わせ後に全体のウィンドウ調整、白黒反転などの基本画像処理が可能であること
2-1-6-6	2D流速測定シークスで撮像した画像から、流速解析が可能であること
2-1-6-7	Qp/Qsの解析が本体コンソール上で可能であること
2-1-6-8	ADC、eADC、FA、ファイバートラクトグラフィーの描出機能を有すること
2-1-6-9	非造影パーフュージョンのカラ-CBFマップと構造画像とのフュージョンが操作コンソール上で可能であること
2-1-6-10	造影パーフュージョン画像からTTP,MTT,rCBV等の解析およびAIF(Artery input function)を用いた解析が本体コンソール上で可能であること
2-1-6-11	ダイミックス画像からTICが本体コンソール上で作成可能であること
2-1-6-12	2-1-6-1から2-1-6-11までの仕様が満たせない場合は、画像処理用の独立型ワークステーションを有し対応可能とすること
2-1-6-13	撮像中に検査を中断するポーズ機能を有し、患者に声掛けなどをした後に残りの撮像を続きから再開可能であること。不可の場合、検査効率向上のため、心拍同期撮像可能な非接触式センサーが内蔵されている腹部用のコイルを有すること
2-1-7	撮像及び処理機能については、以下の要件を満たすこと
2-1-7-1	基本的撮像及び処理機能については、以下の要件を満たすこと
2-1-7-2	k空間フィルタを使用せずローデータ全体を教師データとしたディープラーニングアルゴリズムにより、ノイズリダクション、アーチファクトリダクション、画像尖鋭度向上が可能であること。FSE、GRE、EPIへの対応、および体動補正法や3Dシークスにも適応可能であること。不可の場合、画質向上のためAZE Virtual Place iNoirを1式有すること
2-1-7-3	最小撮像視野は、10mm以下であること
2-1-7-4	最大撮像視野は、500mm以上であること
2-1-7-5	128×128の3D撮像の最短TEは0.23msec以下であること

2-1-7-6	128×128の3D撮像の最短TRは0.8msec以下であること
2-1-7-7	256×256の3D撮像の最短TEは0.32msec以下であること
2-1-7-8	256×256の3D撮像の最短TRは1.1msec以下であること
2-1-7-9	周波数選択式の脂肪抑制法を有すること
2-1-7-10	2°イントDIXON法が使用可能であること
2-1-7-11	3°イントDIXON法(In Phase、Opposed Phase以外のタイミングのTEも含む)が可能であること。不可の場合、磁場歪み抑制PadのNeck3種、Back、Chest、Knee、Elbow、Handを1式有すること
2-1-7-12	水選択励起法を有すること
2-1-7-13	TOF法、PC法を用いたMRアンギオグラフィが撮影可能であること
2-1-7-14	IRパルスを用いた体幹部非造影MRAが可能であること
2-1-7-15	非造影下肢MRAが可能であること
2-1-8	高速撮像法については、以下の要件を満たすこと
2-1-8-1	2D及び3Dの高速スピンエコー法が可能であること
2-1-8-2	3D高速スピンエコー法にDIXON法が併用可能であること。もしくは3D高速グラジエントエコー法にDIXON法が併用可能であること
2-1-8-3	3D高速スピンエコー法にMSDEパルスが併用可能であること
2-1-8-4	3D高速スピンエコー法にオーバーサンプリング法を用いずに折り返しアーチファクトのない局所撮像が可能であること
2-1-8-5	心電図同期、脈波同期、呼吸同期、ナビゲーターエコーによる横隔膜同期が可能であること。心電図、脈波、呼吸との同期デバイスは無線タイプを有すること
2-1-8-6	機械学習を用いて横隔膜同期のトラッカー設定箇所を装置が自動的に決定可能であること。不可の場合、患者に呼吸同期デバイスを装着せずに、外部センサーや赤外線カメラによる呼吸同期機能を有すること
2-1-8-7	磁化率の影響を強調するマルチエコー収集型3D磁化率強調画像を有すること
2-1-8-8	3Dグラジエントエコー法によるダイナミック3D撮像が可能であること
2-1-8-9	造影ダイナミック検査において撮像インターバルを任意に設定可能であること。またオートボイスでは録音機能があること
2-1-8-10	前述の撮像法と併用して、関心領域への造影剤到達を自動検知し、自動的にスキャンが開始可能であること。もしくは造影剤の到達状況をリアルタイムに画像化して最適なタイミングで撮像が開始可能であること
2-1-8-11	パラレルイメージングが併用可能な乳腺ダイナミック3D撮像シーケンスを有すること。また、自動サブトラクションにて画像を再構成可能であること
2-1-8-12	パラレルイメージング法はコイルの感度マップを利用したSENSE法と時間方向のデータの間引きを行う手法が使用可能であること
2-1-8-13	kスペース上の補正データを用いたSMASH法をベースとしたパラレル撮像法が可能であること。もしくは圧縮センシング技術にパラレル再構成を組み込んだ撮像が可能であること
2-1-8-14	圧縮センシングの技術を応用した3D高速撮像がMRA、MRCP、3DFSE法、3Dダイナミック撮像、DIXON法および定常状態シーケンスなど適用可能な部位で全て使用可能であること
2-1-8-15	定常状態シーケンスにて、FID、SE、STEを同時に収集する手法が2Dおよび3Dで可能であること
2-1-9	アーチファクト抑制のための撮像機能については、以下の要件を満たすこと
2-1-9-1	k空間をBLADEの回転により充填する体動補正が可能であり、部位、断面の方向によらず撮像可能であること。BLADEをマルチショット化することでTRの短いT1WIなどにも適用可能であること
2-1-9-2	3D撮像においてブレパルスによって動きを検出し、補正や同期ができる撮像が可能であること。もしくは3D撮像における動き補正に圧縮センシング技術が入併用可能で、デノイズと高速化が可能であること

2-1-9-3	シングルショットではないk空間をBLADEの回転により充填する高速SE法による拡散強調画像の取得が可能であること。不可の場合、歪み補正が可能で拡散強調画像の撮像が可能であること。不可の場合は、磁化率の補正のためビーズを封入したクッションを異なるサイズで4種類有すること
2-1-9-4	Golden Angleの間隔でラジアル上にデータ収集し体動抑制が可能なグッドリックス3D撮像が可能であること
2-1-9-5	脂肪抑制を併用した3次元T1加重ディファrentエコー法は、ビュシェリングを用いて時間分解能を高めることが可能であること。また、k空間のランダムサンプリングもしくはラジアルサンプリングを用いて自由呼吸下撮像が可能であること
2-1-10	EPI法による撮像機能については、以下の要件を満たすこと
2-1-10-1	シングルショットEPI及びマルチショットEPIが可能であること
2-1-10-2	拡散強調画像(ディフュージョン・イメージング)をシングルショットEPI法にて撮像可能であること
2-1-10-3	1回の撮像の中で、B0の位相エンコードの極性を変えた2種類のデータを収集し、その歪具合からDWI画像の歪み補正が可能であること
2-1-10-4	k空間の位相エンコード方向にセグメントし歪低減できるマルチショット法を用いた拡散強調画像法を有すること。呼吸に同期させて上腹部にも使用可能であること
2-1-10-5	2D RF Excitationをベースとする局所励起法を用いてSmall FOVにおいて折り返しのない高分解能な拡散強調画像、ディフュージョンテンソル画像が撮像可能であること
2-1-10-6	拡散強調画像において3軸同時印可が可能であり、また3軸同時印可にて4方向への軸への印可が可能であること
2-1-10-7	Multi-b valueにおいて、16個以上のb値の設定可能であること
2-1-10-8	2つ以上の実測したb値の画像データから、より高いb値の画像を計算可能であること
2-1-10-9	300軸以上にて拡散テンソル画像(DTI)を撮像し、Fractional Anisotropy (FA) mapの表示が可能であること
2-1-10-10	DTI画像を用いてトラクトグラフィ解析が可能であり、本体コンソールにて神経線維路を描出可能であること。また、Single ROI及びMulti ROI設定によるファイバートラッキングイメージの作成が可能であること
2-1-11	その他の撮像機能については、以下の要件を満たすこと
2-1-11-1	3Dの非造影脳パフュージョンが可能であり、pCASL法にてラベリングを行うこと。また歪みを最小限に抑えるためデータ収集法は歪みの影響が少ないSpiral型高速SE法であること。不可の場合、診断精度向上のためJ-MAC社のPMAneoを10年間のライセンス料を含めて提案すること(保守費用の増額を避けるため)
2-1-11-2	プロトンMRS撮影が可能であり、シングルボクセル及びCSI (2D、3D)が行えること
2-1-11-3	関節軟骨変性病変をカラーで視覚化可能なT2マップの撮像と作成が可能であること
2-1-11-4	6point Dixon法を用いて肝臓の脂肪フラクション解析機能を有すること
2-1-11-5	撮像後にTR/TE/TIを変化させ画像再構成することで一度の撮像のみでT1WI、T2WI、FLAIR、PDWI、STIR、など複数のコントラスト画像が本体で作成可能であり、T1値やT2値の計測も可能な機能を有すること。不可の場合、対応可能なワークステーションを1式有すること
2-1-11-6	心筋遅延撮像が可能であること
2-1-11-7	心筋遅延撮像においては不整脈や状態の悪い患者対策として、ディープラーニングによる技術を用いた高速化で1心拍にて遅延を収集できる撮像法が可能であること。不可の場合、心筋遅延撮像に対応した圧縮センシングもしくはAIRS MEDICAL社のサブスク型ディープラーニング画像再構成SwiftMRを提案すること
2-1-11-8	2D遅延造影、PSIR法を用いた遅延造影検査が可能であること
2-1-11-9	心電同期したBlack blood法の撮像が可能であること
2-1-11-10	遅延造影検査において、1回のスキャンでTIの異なる複数の画像を取得し最適なTI値を検索可能な機能を有すること
2-1-11-11	非造影による3D冠状動脈撮像が可能であること
2-1-11-12	心筋のT1マッピング、T2マッピング、T2*マッピングが可能であること

2-1-12	撮像支援機能については、以下の要件を満たすこと
2-1-12-1	撮像の位置決めは、同時に3方向以上の画像が連動して、任意のスライス位置決めが行えること
2-1-12-2	頭部撮像において、ディープラーニングアルゴリズムもしくは機械学習を用いた撮像断面の自動位置決め機能を有すること
2-1-12-3	膝関節撮像において、ディープラーニングアルゴリズムもしくは機械学習を用いた撮像断面の自動位置決め機能を有すること
2-1-12-4	乳房撮像において、両側乳房に対して個別シムを設定し脂肪抑制効果を高める機能を有すること。もしくは両乳房の形状に沿ったシムを自動設定し脂肪抑制効果を高める機能を有すること
2-2	ネットワーク接続については、以下の要件を満たすこと
2-2-1	本院の指定するネットワーク、RIS・PACS・WSおよび検像端末へ接続をすること
2-3	周辺機器は、以下の要件を満たすこと
2-3-1	患者生体モニタリング装置を有し、カフノータが計測可能であること
2-3-2	スリット型またはゲートタイプの磁性体検知器を有すること
2-3-3	非磁性体製 点滴スリット付きの車椅子を有すること
2-3-4	非磁性体製 ストレッチャーを有すること
2-3-5	非磁性体製 点滴スリットを有すること
2-3-6	造影MRI検査を安全で正確に行うためのMRI用インジケータを有すること
2-3-7	患者用MRオーディオとヘッドフォンを有すること
2-3-8	待合室監視モニタを有すること
2-3-9	本院と協議のうえ最適な収納棚等を手配すること
2-3-10	頭部固定用のパッドを有すること
2-3-11	体幹部固定ベルトを有すること
2-3-12	RF遮断シートを有すること
2-3-13	移動用シートを有すること
2-3-14	磁場均一性の改善器具を有すること。もしくはエンジニアにて調整可能であること
2-3-15	MRI安全性ビデオを有すること
2-3-16	待合室へMR検査説明用テレビを有すること
2-3-17	電子カルテ用端末PCを有すること
2-3-18	検像端末を有すること
2-3-19	製品パネルを有すること
2-3-20	性能評価用のファントムを有すること
2-3-21	机・椅子を当院と協議し準備すること
2-4	設置場所・設置要件は、以下の要件を満たすこと
2-4-1	MRI装置設置に関して必要な改修工事を行うこと
2-4-2	非常口の設置、更衣室・トイレを移設すること
2-4-3	救急時に放射線技師室へ呼出しが可能なようボタン等を設置すること
2-4-4	リモートメンテナンス機能を有すること
2-5	導入に伴う稼働準備及び運用・教育体制に関すること
2-5-1	本院関係者への教育訓練を行うこと
2-5-2	その後必要に応じて派遣または電話対応等の体制を確保すること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年経過のち次の3月31日までは無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存機器の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	中央放射線室
調達機器名	血管撮影装置 一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1－1	血管撮影装置 本体	1式
1－2	50インチカラー液晶ディスプレイ + 液晶モニタ2台	1式
1－3	低線量撮影技術機能	1式
1－4	検査室用情報統合システム	1式
1－5	DVDライター	1式
1－6	血管解析機能	1式
1－7	操作室用タッチスクリーンモジュール	1式
1－8	操作室用フットスイッチ	1式
1－9	ワイヤレスフットスイッチ(モノプレーン用)	1式
1－10	タッチスクリーンモジュール拡張機能	1式
1－11	臨床画像の表示・操作機能	1式
1－12	操作室用コントローラ	1式
1－13	寝台旋回機能、寝台固定機能	1式
1－14	患者側位アームサポート(左右セット)	1式
1－15	カーボン製X線透過型手台	1式
1－16	テーブル取付式放射線シールド	1式
1－17	パンハンドル	1式
1－18	天井吊放射線シールド	1式
1－19	天井吊放射線シールド用ブラケット	1式
1－20	スポットライト	1式
1－21	リアルタイム3D再構成機能	1式
1－22	3D-RAと透視画像を重ね合わせた3Dロードマップ	1式
1－23	3D用解析ソフト	1式
1－24	異なる2つの3Dデータの同時観察・解析機能	1式
1－25	マルチモダリティロードマップ機能	1式
1－26	コンビームCT撮影機能	1式
1－27	オフセットコンビームCT(SoftTissue)	1式
1－28	金属アーチファクト軽減機能	1式

1－29	コンビームCTを用いた塞栓手技支援機能	1式
1－30	IWハードウェア	1式
1－31	生体波形表示機能	1式
1－32	フリートローイング機能	1式
1－33	炭酸ガス造影時の加算表示機能	1式
1－34	回転撮影機能	1式
1－35	DSA画像をマスクとしたロードマップ機能	1式
1－36	透視と透視、透視とロードマップを同時表示する機能	1式
1－37	CV用トランス100kVA	1式
1－38	プロテクション用ハンガー金具	1式
1－39	透視録画システム	1式
1－40	長方形ブロック形(中)	1式
1－41	頭部サポート(成人用)	1式
1－42	Coronary用薄型マットレス	1式
1－43	机2台、椅子5脚	1式
1－44	CPM/トランス結線等	1式
1－45	ネットワーク接続(PACS, MWM, WS, 電カ、動画サーバ)	1式
1－46	IGT System Clinical Online Education	1式
1－47	インジェクタ	1式
1－48	移動型カテーテルカート	3式
1－49	ベッドサイドモニタ	1式
1－50	超音波画像診断装置	1式
1－51	補助透視モニタ	1式

2. 機器の仕様

2－1	血管撮影装置については、以下の要件を満たすこと
2-1-1	X線高電圧装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-1-1	制御方式はインバータ方式であり最大出力は100kW以上であること
2-1-1-2	撮影条件設定は、撮影管電圧、管電流とも自動設定が可能であること
2-1-2	保持装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-2-1	全身の検査が可能なシステムで、設置方式は天井走行式または床置き式であること
2-1-2-2	患者左右方向からのアプローチが可能であること
2-1-2-3	アームの奥行きは90cm以上であること
2-1-2-4	RAO 130°以上、LAO 120°以上の回転範囲を有すること

2-1-2-5	Cr 55°、Cd 45° 以上の回転範囲を有すること
2-1-2-6	安全機構が施されていること
2-1-2-7	撮影位置を設定可能なオートポジショニング機構を55通り以上設定可能であること
2-1-3	正面用・側面用X線管装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-3-1	X線管冷却方式は油冷方式または油冷および水冷の併用方式であること
2-1-3-2	2焦点を有しており、大焦点は0.8mm以下、小焦点は0.5mm以下であること
2-1-3-3	ベアリングは液体金属であること
2-1-3-4	最大陽極蓄積熱容量が5,000KHU以上であること
2-1-3-5	陽極冷却率1,500kHU/min以上であること
2-1-4	検出器は、以下の要件を満たすこと
2-1-4-1	最大視野サイズが38cm×29cm以上の半導体検出器(フラットパネeldetector)を有すること
2-1-4-2	6種類以上の視野サイズを選択切り替えすることが可能であること
2-1-4-3	ピクセルサイズは154μm以下であること
2-1-4-4	量子変換効率(DQE)77%以上であること
2-1-4-5	濃度分解能は16bit以上であること
2-1-5	患者用寝台は、以下の要件を満たすこと
2-1-5-1	テーブルトップ長手方向の稼働範囲は120cm以上であること
2-1-5-2	テーブルトップ横手方向の稼働範囲は35cm以上であること
2-1-5-3	天板サイズは280cm×45cm以上であること
2-1-5-4	耐荷重は275kg以上であること
2-1-5-5	寝台がどの位置に伸長した状態においても、補助具なしでその場で心臓マッサージが可能であること
2-1-5-6	天板は240°以上回旋が可能であること
2-1-6	検査室/操作室モニタ/映像システムは、以下の要件を満たすこと
2-1-6-1	検査室におけるモニタは、50インチ以上の大画面マルチモニタ1台、27インチ以上のサブモニタ2台を有すること
2-1-6-2	大画面マルチモニタは解像度3840×2160以上、輝度350cd/m ² 以上、コントラスト比1000:1以上であること
2-1-6-3	大画面マルチモニタ前面はプロテクトガラスにて保護されており、防塵・防水性能規格に準拠していること。もしくは、衝突などによる故障のバックアップとして検査室内にもう1台項番2-1-6-1の大画面モニタと同じ性能を有する50インチ以上の大画面マルチモニタを壁面に設置すること
2-1-6-4	検査室サブモニタは、解像度1920×1080以上、輝度650cd/m ² 以上、コントラスト比1000:1以上であること
2-1-6-5	検査室サブモニタは、大画面マルチモニタ上部に設置、もしくは、別途移動可能な架台に設置すること
2-1-6-6	検査室の大画面マルチモニタは、天井走行式架台に設置し、長手方向、横手方向に独立してそれぞれ2,700mm以上移動可能であること。左側からのCアームアプローチ時にも同様のモニタセッティングが可能なよう項番2-1-6-1の大画面モニタ同等性能を有する50インチ以上の大画面モニタを両サイドに設置すること
2-1-6-7	操作室のモニタは24インチ以上3台もしくは、27インチ以上2台を有すること

2-1-6-8	操作室のモニタは24インチは、解像度1920×1080以上、輝度400cd/m ² 以上、コントラスト比1000:1以上、27インチモニタは解像度1920×1080以上、輝度650cd/m ² 、コントラスト比1000:1以上であること
2-1-6-9	映像システムは、大画面マルチモニタに本システムおよび周辺機器の映像信号を16信号以上入力、8信号以上の同時表示が可能であること。大画面モニタ付近にも入力Boxを設置し、可動式周辺機器に対しても任意に入力可能であること
2-1-6-10	映像システムは、大画面マルチモニタは12種類以上のレイアウトパターンを有すること。事前にレイアウト登録がユーザー側でセッティング可能であること
2-1-6-11	映像システムは、大画面マルチモニタに表示された信号およびサブモニタに表示された信号を検査室および操作室から手技中に任意に入れ替え操作可能であること
2-1-6-12	映像システムは、大画面マルチモニタに表示された装置本体および周辺機器の画面の操作を、ベットサイトにてマウス等で操作可能、もしくは、検査室において表示された装置本体および周辺機器の画面操作を行えるシステムを構築すること
2-1-6-13	映像システムは、操作室および検査室から大画面マルチモニタの入力された信号をサブモニタへ任意に選択して表示可能であること
2-1-6-14	映像システムは、検査室の大画面モニタの信号を分配させて、操作室に表示させること。表示させるモニタサイズおよび設置位置は当院と協議して決定すること
2-1-7	デジタル画像処理システムは、以下の要件を満たすこと
2-1-7-1	パルス透視機能は、9段階以上設定ができ、1024×1024マトリクス 0.5パルス/秒以下、30パルス/秒以上の設定が可能であること
2-1-7-2	撮影画像をマスク画像としたロードマップ透視機能と透視加算によるロードマップ透視機能を有すること
2-1-7-3	ロードマップ、ライブ透視、リファレンス画像の同時表示およびライブ透視、表示機能を有すること
2-1-7-4	X線を増やさずに、操作室、ベットサイトからタッチパネルで関心領域にパンニング、最大5倍まで任意サイズにデジタルズームが行える機能を有すること。もしくは検査室内に術者専用X線防護キャビン(ハイトロニックジャパン社製 ゼログラビティ放射線防護)を2式有すること
2-1-7-5	透視保存機能を有すること。保存方法は操作室および検査室から行えること
2-1-7-6	DA撮影は1024×1024マトリクス 30fr/s以上の撮影が可能であること
2-1-7-7	DSA撮影は2048×1920マトリクス以上、1024×1024マトリクス 6fr/s以上の撮影が可能であること
2-1-7-8	輪郭強調処理、コントラスト調整処理、ズーム等の画像処理は、操作室および検査室で実施可能であること
2-1-7-9	透視中においても、並行して本体装置内のデータのリファレンス画像作成、画像処理、閲覧ができること。別途ワークステーションに転送して実施する場合、3D処理が可能なワークステーションとは別に独立して並行処理できるワークステーションを有すること
2-1-7-10	ECG波形データを取り込みライブ画像上に表示可能であること
2-1-7-11	ECG信号をトリガリングさせて心周期の位相と同期させた透視機能、もしくは、冠動脈4D-CTの時間軸において、追跡、補完、位置合わせを行う事で冠動脈動態画像を表示できる機能(Ziosoft社製PhyZiodynamics)を搭載したアンギオ室専用のスタンドアロン用のワークステーションを用意すること
2-1-7-12	C02造影専用の撮影プロトコルを有すること
2-1-7-13	撮影画像の血管解析機能を有し、透視、撮影中においても操作室およびベットサイトで可能であること
2-1-7-14	画像保存は1024×1024マトリクスで50,000画像以上保存可能であること

2-1-7-15	X線曝射に連動した透視録画装置を有すること
2-1-7-16	DVDメディアへのDICOMフォーマット、MPEG4、PNG形式での画像書き込みが可能なインターフェース、もしくは、各種フォーマットに変換可能なPCを有すること
2-1-7-17	DICOM Storage (Storage SCU)/Query and Retrieve、DICOM Storage Commitment (Storage Commitment SCU)、DICOM Modality Worklist Management、DICOM Modality Performed Procedure Step、に対応すること。接続に関しては、当院の指定先と接続すること
2-1-8	被ばく低減機能は、以下の要件を満たすこと
2-1-8-1	被ばく低減フィルタは3種類以上有し、最大1.0mmCu _{eq} 以上の厚さであること。または、0.9mmCu _{eq} 以上の最大厚を有し、5種類以上のフィルタ組み合わせを有すること
2-1-8-2	被ばく低減フィルタは透視、撮影プログラムにて、最も厚いフィルタで設定した場合でも自動退避しない常時固定挿入式であること。または、術者およびスタッフの水晶体被ばくの影響を考慮し、眼の水晶体線量計(千代田テクニカル社製DOSIRIS相当)を本院の術者、コメディカル人数分有すること
2-1-8-3	専用の低線量テクノロジーを有し、画質を維持しつつ平均して50%以上の線量低減を実現可能なシステムを有すること。線量低減に関しては15以上の医学論文(文献引用影響率を有する)にて報告されていること。もしくは、ヨウ素・鉄・プラチナ・バリウム・タantal・軟部組織・炭酸ガスなどの特定の材質の視認性を向上機能として各材質特有のX線吸収特性を考慮したX線スペクトルを形成のために5種類以上のパラメータの調整が可能な機能を有すること
2-1-8-4	ラストイメージ上に次のX線照射エリアがグラフィック表示され、テーブル移動や視野サイズ変更と連動する機能を有すること
2-1-8-5	手技中のIVR基準点におけるリアルタイム空気カーマ率、累積空気カーマ、および累積面積線量を検査室、操作室に表示すること。空気カーマの算出方法は術者の散乱線増加を考慮し、面積線量計を使用せず計算値にて算出ができること。面積線量計が必要な場合、面積線量計による散乱線を計測するためにそれぞれのスタンド用にX線QAアラライザ(アクロバティ社製Piranha)を2台備え、散乱線分布図作成ソフトウェアおよびPCを有すること
2-1-8-6	検査ごとの実施情報および照射履歴をRDSR形式で出力可能なこと
2-1-8-7	天井吊り下げ式防護板を有すること
2-1-8-8	寝台取り付け式防護板を有すること
2-1-9	ユーザーインターフェースおよびアクセサリは、以下の要件を満たすこと
2-1-9-1	検査室、操作室にそれぞれアーム操作およびテーブル操作コントローラ、リモーション等の操作コントローラを搭載すること
2-1-9-2	テーブルパッシング専用コントローラを有すること
2-1-9-3	タッチパネルコントローラを検査室、操作室に装備すること
2-1-9-4	透視・撮影画像へのマーキング機能を備え、マーカーを透視上に表示可能であること。またはツールにて描画したラインを透視上に表示可能であること。仕様を満たさない場合には他社製品での対応も可能とする
2-1-9-5	撮影済み画像および参照画像からワンボタンで、Cアーム/SID/寝台上下位置を再現可能な機能を有すること
2-1-9-6	検査室、操作室内にフットスイッチを有すること。さらに検査室にはワイヤレスフットスイッチも有すること
2-1-9-7	頭部固定具、患者固定ストラップを有すること
2-1-9-8	手台、肘置きを有すること
2-1-9-9	厚さの違うマットレスを2式有すること

2-1-9-10	天井懸垂式LEDスポットライトを有すること
2-1-9-11	カーボン製延長天板を有すること
2-1-9-12	患者生体情報をモニタに映し出すこと、及び電子カルテに記録を送信すること
2-1-9-13	超音波画像診断装置は当院の指定する装置とすること、プローブは2種類(リニア・コンベックス)を有すること
2-1-9-14	外付け透視用モニタを追加すること
2-1-10	血管内治療支援アプリケーションは、以下の要件を満たすこと
2-1-10-1	3D再構成、解析操作を行えるワークステーションを有し、操作室モニタ、検査室マルチモニタへ表示およびマウス、キーボード操作が行えるシステムを構築すること
2-1-10-2	患者頭側および患者左側設置による高速回転、もしくは、パイプレン高速回転での回転撮影画像による3D血管撮影機能を有すること
2-1-10-3	3D血管画像と透視画像の重ね合わせによる3Dロードマップ機能を有しすること。患者の体動に自動追従する機能、もしくは、患者固定強化のためのメディカルサポート社製RAS-570 eccentric dualを有すること
2-1-10-4	3D画像を用いた血管解析、距離計測、体積計測機能を有すること
2-1-10-5	患者頭側、患者左側、患者右側設置による高速回転撮影画像によるコンビーム撮影機能を有すること。もしくは自走式CTを搭載すること
2-1-10-6	多相コンビームCT撮影が行えること。2つ以上のデータの同時観察が行えること
2-1-10-7	コンビームCT撮影は肝臓撮影用にLA055° からRA0185° の回転範囲で撮影できる機能、もしくは、コンビームCTを用いた血液量3Dカラーマップ機能として肝実質血液量の評価が可能であること
2-1-10-8	コンビームCT画像の金属アーチファクト低減機能を有すること
2-1-10-9	コンビームCT画像から腫瘍をセグメンテーションし、栄養血管候補を自動で抽出する機能を有すること
2-1-11	その他、以下の要件を満たすこと
2-1-11-1	装置導入後、5年間、システムのバージョン、OS、サイバーセキュリティソフトウェアは、常時新しいバージョンに無償でアップデートすること。また、バージョンアップに伴い、装置ホストコンピュータ等のハードウェアPCの交換が必要である場合、無償交換し装置の安定化を図ること
2-1-11-2	製品は、再生品や再利用部材(リターンパーツ)などを使ったリファビッシュ製品、もしくはそれに準ずる製品ではない新品であること
2-1-11-3	リモートメンテナンス機能を有すること
2-1-11-4	内視鏡洗浄設備の移設を行うこと
2-1-11-5	感染症に対応する換気扇を設置すること
2-1-11-6	検査室及び操作室にエアコンを設置すること
2-1-11-7	洗浄用流し台を設置すること
2-1-11-8	患者説明用パネルを有すること
2-1-11-9	検査室内にオデッセイ装置を設置すること
2-1-11-10	検査室内の照明は調光機能を有すること
2-1-11-11	患者監視用カメラ(ズーム機能付き 2式)を備えること
2-1-12	設置場所・設置要件は、以下の要件を満たすこと
2-1-12-1	血管撮影装置設置に関して必要な改修工事を行うこと

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	装置引き渡しから令和9年3月31日までは無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存機器(X線透視装置)の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと
3-1-11	関係法令の手続きを行うこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	消化器内科
調達機器名	内視鏡ビデオシステム 一式
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	上部ビデオスコープ A	1本
1-2	上部ビデオスコープ B	1本
1-3	大腸ビデオスコープ	1本
1-4	内視鏡超音波観測装置	1台
1-5	接続ケーブル	1本
1-6	DFリモートケーブル 2m	1本
1-7	SDIケーブル 2.5m	1本
1-8	通信ケーブル 0.7m	1本
1-9	フットスイッチ	1個
1-10	内視鏡超音波観測装置ソフトウェアオプション	1個

2. 構成品の仕様

2-1	上部ビデオスコープ Aは、以下の要件を満たすこと
2-1-1	視野角は、通常観察時、近接観察時ともに140°以上であること
2-1-2	視野方向は、0°(直視)であること
2-1-3	観察深度は、通常観察時3-100mm以上、近接観察時1.5-5.5mm以上であること
2-1-4	挿入部の軟性部外径は、φ9.6mm以下であること
2-1-5	挿入部の有効長は、1,030mm以上であること
2-1-6	鉗子チャンネルの最小径は、φ2.8mm以下であること
2-1-7	鉗子チャンネルの最小可視距離は、内視鏡先端から3mm以下であること
2-1-8	湾曲角は、Up210°/Down90°/Right100°/Left100°以上であること
2-1-9	全長は、1,350mm以上であること
2-1-10	広範囲にピントの合った内視鏡画像を生成する機能を有すること
2-1-11	近点/遠点の各焦点に合った2画像以上を同時に取得することが可能であること
2-1-12	ボタンで2段階以上のフォーカス切り替え可能な機能を有すること
2-1-13	HQ画質の実現が可能なイメージセンサを採用していること

2-2	上部ビデオスコープ Bは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	視野角は、140° 以上であること
2-2-2	視野方向は、0° (直視) であること
2-2-3	観察深度は、3-100mm以上であること
2-2-4	挿入部の軟性部外径は、φ 9.9mm以下であること
2-2-5	挿入部の有効長は、1,030mm以上であること
2-2-6	鉗子チャンネルの最小径は、φ 3.2mm以下であること
2-2-7	鉗子チャンネルの最小可視距離は、内視鏡先端から3mm以下であること
2-2-8	湾曲角は、Up210° /Down120° /Right100° /Left100° 以上であること
2-2-9	全長は、1,350mm以上であること
2-2-10	ハレーション対応CCDを搭載していること
2-3	大腸ビデオスコープ は、以下の要件を満たすこと
2-3-1	視野角は、通常観察時170°、近接観察時160° 以上であること
2-3-2	視野方向は、0° (直視) であること
2-3-3	挿入部の軟性管外径は、φ 12.8mm以下であること
2-3-4	挿入部の先端部外径は、φ 13.2mm以下であること
2-3-5	挿入部最大径は、φ 14.9mm以下であること
2-3-6	挿入部の有効長は、1,330mm以上であること
2-3-7	鉗子チャンネルの最小径は、φ 3.7mm以下であること
2-3-8	鉗子チャンネルの最小可視距離は、内視鏡先端から4mm以下であること
2-3-9	湾曲角は、Up180° /Down180° /Right160° /Left160° 以上であること
2-3-10	全長は、1,655mm以上であること
2-3-11	広範囲にピントの合った内視鏡画像を生成する機能を有すること
2-3-12	ボタンで2段階以上のフォーカス切り替え可能な機能を有すること
2-3-13	HQ画質の実現が可能なイメージセンサを採用していること
2-4	内視鏡超音波観測装置は、以下の要件を満たすこと
2-4-1	寸法はW375mm×D480mm×H180mm(突起含まず)以下であること
2-4-2	質量は22kg以下であること
2-4-3	電源は100V交流、50/60Hz共用、340VAであること
2-4-4	超音波走査方式は機械走査、電子走査であること
2-4-5	LCDタッチパネルを有すること
2-4-6	トラックパッドを有し、位置とサイズを調整することが可能であること
2-4-7	機械走査機能は、以下の要件を満たすこと
2-4-7-1	モードはBモードを有すること
2-4-7-2	走査方式はラジアル走査、ヘリカル走査であること

2-4-7-3	送波周波数は、12MHz、20MHzであること
2-4-7-4	表示レンジは2、3、4、6、9、12cmレンジであること
2-4-7-5	画像の回転が可能であること
2-4-7-6	画像の表示は、全円、下半円、上半円の表示およびスクロールが可能であること
2-4-7-7	超音波画像の左右反転表示が可能であること
2-4-7-8	1,500枚以上の画像保存が条件によって可能であること
2-4-7-9	シネビュー機能を有すること
2-4-7-10	3D表示、DRP表示が可能であること
2-4-7-11	距離、面積、周囲長の計測が可能であること
2-4-8	電子走査機能は、以下の要件を満たすこと
2-4-8-1	モードはBモード、FLOWモード、PWモード、CHEモード、ELSTモードを有すること
2-4-8-2	走査方式はラジアル走査、コンベックス走査であること
2-4-8-3	送波周波数は、5MHz、6MHz、7.5MHz、10MHz、12MHzであること
2-4-8-4	表示レンジは2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12cmレンジであること
2-4-8-5	ラジアル走査時の画像を回転することが可能であること
2-4-8-6	画像の表示は、ラジアル走査時は全円、下半円、上半円の表示およびスクロールが可能であること。コンベックス走査時は固定することが可能であること
2-4-8-7	超音波画像の左右反転表示が可能であること
2-4-8-8	2,000枚以上の画像保存が条件によって可能であること
2-4-8-9	シネビュー機能を有すること
2-4-8-10	s-FOCUS、オート、マニュアルの自動プリセットが可能であること
2-4-8-11	焦点位置、焦点数の調整が可能であること
2-4-8-12	以下のFLOWモードを有すること COLOR-FLOWモード/POWER-FLOWモード/H-FLOWモード
2-4-8-13	PWモードは以下より選択可能であること B+PW/COLOR+PW/POWER+PW/H-FLOW+PW
2-4-8-14	距離、面積、周囲長、PWの計測が可能であること
2-4-8-15	以下のTHE(ティッシュハーモニックエコー)モードを有すること OFF/THE-Pモード/THE-Rモード

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	手術室
調達機器名	手術台 一式
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	手術台 本体	3台
1-2	ダブル脚板	3組
1-3	シングル脚板	1台
1-4	デジタルカセット格納枠 頭板	3台
1-5	デジタルカセット格納枠 背板	3台
1-6	デジタルカセット格納枠 腰板	3台
1-7	固定式カセット格納枠 ダブル脚板	3台
1-8	デジタルカセット格納枠 シングル脚板	1台
1-9	ウイング式スクリーン掛 固定金具付	3組
1-10	上肢台	6台
1-11	上肢台用マットレス 100mm厚	6枚
1-12	ダブルアクシスアームボード 本体	2台
1-13	ダブルアクシスアームボード 用マットレス 100mm厚	2台
1-14	若杉氏上肢台 500mmタイプ 固定金具付	1台
1-15	若杉氏上肢台 730mmタイプ 固定金具付	1個
1-16	ベースユニットアタッチメント φ20mm	1個
1-17	マルチタスクアームボード 固定金具付	2台
1-18	イメージングアームボード	1個
1-19	アームボード サポートロッド	1個
1-20	アームボード ハット	1個
1-21	フレキシブル側部支持器 本体	2個
1-22	側部ハット 若杉	2個
1-23	レール固定金具 小型	2個
1-24	脚部リバーサルアダプタ	1個
1-25	デジタルカセット格納枠 脚部リバーサルアダプタ	1個
1-26	マットレス脚部リバーサルアダプタ	1個
1-27	カーボンエクステンションボード 100cm 本体のみ	1台

1-28	マットレス 100cm用 110mm厚	1枚
1-29	頭部延長ボード 本体 240mm	1台
1-30	頭部延長ボード 240mm用デジタルカセット格納枠	1個
1-31	マットレス 頭板タイプ	1枚
1-32	腰部延長ボード 300mm 本体	1台
1-33	デジタルカセット格納枠 腰部延長ボード 300mm	1台
1-34	マットレス 腰部延長ボード 300mm用	1個
1-35	手術台レール固定金具	4個
1-36	レール固定金具 大型	5個

2. 構成品の仕様

2-1	手術台は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	テーブルトップ 寸法はW500mm×L2, 100mm(ダブル脚板装着時)以上であること
2-1-2	ベース寸法はW500mm×L1, 200mm以下であること
2-1-3	質量は400kg(ダブル脚板装着時)以下であること
2-1-4	電源はAC100-240V、50-60Hz、600VAであること
2-1-5	バッテリー電源電圧はDC24Vであること
2-1-6	作動荷重は360kg以上であること
2-1-7	電動昇降範囲は、1,000～520mmの範囲以上であること
2-1-8	電動縦転角度は、頭上がり30°～頭下がり40°の範囲以上であること
2-1-9	電動横転角度は、右下がり35°～左下がり35°の範囲以上であること
2-1-10	電動背板屈折角度は、上がり90°～下がり40°の範囲以上であること
2-1-11	電動脚板屈折角度は、上がり25°～下がり90°の範囲以上であること
2-1-12	手動ダブル脚板展開角度は、第一関節、第二関節ともに42°以上であること
2-1-13	電動スライド量は、頭方向250mm～脚方向415mmの範囲以上であること
2-1-14	電動フレックスおよびリフレックス機能を有すること
2-1-15	以下の電動自動水平復帰機能を有すること 縦転/横転/背板屈折/脚板屈折/フレックス/ビッチェア
2-1-16	手動頭部板屈折角度は、上がり60°～下がり90°の範囲以上であること
2-1-17	アクセサリの組み合わせにより、さまざまな手術体位に対応可能であること
2-1-18	1-24脚部リバーサルアダプタを接続することによって、患者の逆載せが可能であること
2-1-19	コントローラは液晶を有し、ポジションングのデジタル表示が可能であること
2-1-20	コントローラはメモリ機能を搭載しており、手術体位の保存が可能であること
2-1-21	コントローラはBluetooth機能を搭載しており、赤外線通信またはBluetooth通信のいずれかでコントロールによる手術台操作が可能であること
2-1-22	以下の安全機能を搭載していること ・タッチパネル式予備スイッチ ・ブレーキ解除ハンドル ・電動4点ブレーキおよびブレーキ固定ランプ ・緊急停止スイッチ ・転倒検知システム

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	中央材料室
調達機器名	RO水製造装置 他 一式
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	RO水製造装置 本体	1台
1-2	外置300ℓ SUS製タンク	1台
1-3	電気ポンプ	2台
1-4	感震器	2台
1-5	コンプレッサ	1台
1-6	エアータンク	1台
1-7	搬入設置	1式

2. 構成品の仕様

2-1	RO水製造装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	本体外形寸法はW1,200×H1,900×D1,015mm以下であること
2-1-2	前処理部・RO水処理製造部・RO水貯留部から構成された装備であること
2-1-3	1時間当たりのRO水が600ℓ(水温7℃)以上安定して供給可能であること
2-1-4	不純物・溶存酸素を95%以上(初期値)除去することが可能な装置であること
2-1-5	前処理部に関しては、以下の要件を満たすこと
2-1-5-1	原水ポンプは渦巻多段式ポンプもしくは定圧ポンプであること
2-1-5-2	給水量は、1,200ℓ/時以上であること
2-1-5-3	ポンプ吐出圧は、0.1～0.3MPaの範囲以上であること
2-1-5-4	原水ポンプ主要部は防錆に優れた材質(要部ステンレス製)が使用されていること
2-1-5-5	機器内蔵フィルタの形状は円筒型であること
2-1-5-6	機器内蔵フィルタは1μm糸巻きエレメントもしくは活性炭フィルタを使用していること
2-1-5-7	機器内蔵フィルタは1本あたり10ℓ/分以上の流量が採水可能であること
2-1-5-8	ハウジング材質は、防錆性に優れたステンレス製であること
2-1-5-9	機器内蔵フィルタは1本以上装備されていること
2-1-5-10	活性炭濾過器(30ℓ以上)を装備していること
2-1-6	RO水製造部に関しては、以下の要件を満たすこと
2-1-6-1	逆浸透膜はスパイラル形状とし、材質は耐久性の高いポリアミド系複合膜であること

2-1-6-2	処理水はイオンが90%以上(初期値)除去されていること
2-1-6-3	逆浸透膜は、流量・イオン除去りつについて出荷前に試験済みであること
2-1-6-4	機器の配管主要部分はステンレス製であること
2-1-6-5	水漏れ事故を防止するため、漏水検知機構が装備されていること
2-1-6-6	RO膜への負荷軽減と水質浄化の為、インバータ式スロースタートROポンプを搭載していること
2-1-7	コントロールパネルに関しては、以下の要件を満たすこと
2-1-7-1	本体システムのグラフィックモニターは、カラータッチパネル式もしくはマイコンボードディスプレイ及びリリースケースであること
2-1-7-2	本体システムのグラフィックモニターで、メイン画面では製造量・水質をグラフィック表示することが可能であること
2-1-7-3	製造中の水質・製造量をデジタル表示することが可能であること。交換周期を経過したものは自動的に発信表示すること
2-1-7-4	システムの水質・水温等の各種異常警報は、ブザー通知されること
2-1-8	RO水タンクユニットに関しては、以下の要件を満たすこと
2-1-8-1	タンクは、内圧に強く且つ、紫外線が均一に照射可能なステンレス製の角形形状であること
2-1-8-2	タンクは密閉型で、外気とは除菌フィルタ(0.5 μ m以下の中空糸フィルタもしくはデブスフィルタ)を介して分離され、外気との直接接触による二次側汚染が防止されている構造であること
2-1-8-3	浸水式UV殺菌灯(殺菌線出力:8W以上)がタンクに設置され最近汚染防止が図られていること
2-1-8-4	タンクは、容量300ℓ以上を2基装備し、1基はRO本体に内蔵すること
2-1-8-5	送水ポンプは渦巻多段式ポンプもしくは定圧ポンプであること
2-1-8-6	送水量は、1台当たり30ℓ/分以上であること
2-1-8-7	送水ポンプ吐出圧は、0.1～0.3MPaの範囲以上であること
2-1-8-8	送水ポンプは防錆性に優れた材質(要部ステンレス製)が使用されていること
2-1-8-9	送水ポンプはRO水製造装置1基につき、予備タンク用を含め2台を搭載すること
2 - 2	電気ボイラーは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	厚生労働省のボイラー及び圧力容器安全規則に定められる簡易ボイラー等構造規格に合格した機器であること
2-2-2	本体外形寸法は、W865×H1,820×D1,785mm以下であること
2-2-3	常用圧力は最高0.5MPa以上であること
2-2-4	電気ヒータータイプとし、電気ヒーター容量は96kw以上であること
2-2-5	相当伝熱面積は、1.6m ² 以上であること
2-2-6	相当蒸発量は、144kg/h以上であること
2-2-7	本体(缶体)及び接液部の材質はSUS304もしくはSUS316であること
2-2-8	電極式水面検出棒もしくはフロート式水面検出により、給水ポンプのON・OFF制御が可能であること
2-2-9	蒸気圧力が規定圧力に達すると、電気ヒーターが停止する機能、及び蒸気圧力が圧力スイッチのデッドプレッシャー分下がると、再び電気ヒーターが作動する機能を有すること

2-2-10	装置毎に感震器が取り付けられていること
2-2-11	200Vブレーカは漏電遮断器付きであること
2 - 3	コンプレッサは、以下の要件を満たすこと
2-3-1	本体外形寸法は、W460×D685×H880mm以下であること
2-3-2	装置は、給油を必要としないオイルフリータイプであること
2-3-3	運転時の騒音を軽減する為、スクロール方式であること
2-3-4	運転制御方式は、圧力センサ検知による自動発停式であること
2-3-5	エアードライヤーを内蔵していること
2-3-6	最高圧力は、0.8MPa以上であること
2-3-7	吐出し空気量は、255ℓ/min以上であること
2-3-8	内蔵空気タンクはアルミ合金製もしくはステンレス製であり、容量は20ℓ以上であること
2-3-9	本体に電子式ウォーターレントラップが搭載されていること
2-3-10	操作パネルで、運転状況、各種異常・事前警報を表示する機能を有すること
2 - 4	エアータンクは以下の要件を満たすこと
2-4-1	容量は36ℓ以上であること
2-4-2	主要材質は金属であること

3. その他

3 - 1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されていること
3-1-2	本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	中央検査室
調達機器名	全自動液状化検体細胞診標本作製装置
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	全自動液状化検体細胞診標本作製装置	1式
1-2	病理システム連携	1式

2. 構成品の仕様

2-1	全自動液状化検体細胞診標本作製装置は、以下の要件を満たすこと	
2-1-1	外形寸法はW860mm×D660mm×H560mm以下であること	
2-1-2	設置寸法はW1,020mm×D920mm×H1,020mm以下であること	
2-1-3	質量は85kg以下であること	
2-1-4	廃液ボトル寸法はW150mm×D150mm×H450mm以下であること	
2-1-5	電源はAC100-130V、47～63Hzであること	
2-1-6	消費電力は240W以下であること	
2-1-7	婦人科用バイアルの検体処理についてFDA承認済みであること	
2-1-8	カルセルは20個以上のバイアル、スライド、フィルタをセットすることが可能であること	
2-1-9	1～20検体を処理可能であること	
2-1-10	処理時間は20検体/約40分であること	
2-1-11	バイアルとスライドのバーコードを確認し検体の取り違いを防止する機能を有すること	
2-1-12	タッチスクリーンによる操作が可能であること	
2-1-13	リアルタイム進行追跡と結果はスクリーンにて確認可能であること	
2-1-14	バイアルのキャップを自動で開閉する機能を有すること	
2-1-15	作製済みの標本はラックのまま染色機にセットすることが可能であること	
2-1-16	バイアルでのHPV遺伝子検査の追加利用が可能であること	
2-1-17	機器導入後に鏡検研修のプログラムが準備されていること	
2-2	病理システム連携は、以下の要件を満たすこと	
2-2-1	既存の病理システム(Dr. HELPER LBC)と連携をすること	

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	臨床工学室
調達機器名	個人用多用途透析装置
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	個人用多用途透析装置(荷重計付)	2式
1-2	血液量モニタ(BV計)	2式
1-3	補液荷重計ヒーターユニット	2式
1-4	ダイヤライザホルダ	2式
1-5	ナースコール	2式
1-6	個人用多用途透析装置	1式
1-7	血液量モニタ(BV計)	1式
1-8	ダイヤライザホルダ	1式
1-9	ナースコール	1式
1-10	余液受	1式

2. 構成品の仕様

2-1	個人用多用途透析装置(荷重計付)は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	外形寸法はW330mm×D470mm×H1,350mm(突起物を含まず)以下であること
2-1-2	質量は60kg(標準仕様)以下であること
2-1-3	最大消費電力は1.5kWであること
2-1-4	透析液流量は、300～700ml/minの範囲以上であること
2-1-5	HD、ECUM、オンラインHDF/HF、オフラインHDF/HF、IHDFの透析治療モード全てに対応していること
2-1-6	オンラインHDF機能(QSコントロール)を有すること
2-1-7	透析液(正ろ過方式)を使用したプライミング、返血に対応していること
2-1-8	血液回路のプライミングの自動化、及び血液脱血工程、緊急補液、返血工程の自動化機能を有すること
2-1-9	血液ポンプの流量設定範囲は、40～350ml/minの範囲以上であること(外径9.7mm、内径6.6mmのポンプしごき部使用時)
2-1-10	補液ポンプの流量設定範囲は、最大240/hまで可能であること
2-1-11	血圧計ユニットが内蔵されていること
2-1-12	血圧計は加圧測定方式を採用していること

2-1-13	血圧計で血圧を測定した際に得られる振幅データをグラフ表示可能であること
2-1-14	血漿ろ過率と血流量・除水速度・Ht・TPから補液流量を算出し、設定することが可能であること
2-1-15	血流量、透析液流量を最大10ステップまで細かくプログラム設定することが可能であること
2-1-16	IHDFにおいて、補液量と回収量を各々最大16ステップまでプログラムを設定することが可能であること
2-1-17	BV計が搭載され、循環血液量の変化率を測定することが可能であること
2-1-18	循環血液量の変化率をもとに、除水速度を制御する機能を有すること
2-1-19	VA再循環率測定機能を有すること
2-1-20	静的静脈圧監視機能を有すること
2-1-21	治療中に透析排液のUV吸光度変化率を連続的に測定することでspKt/VとURRを算出し、グラフ表示することが可能であること
2-1-22	エンドトキシン捕捉フィルタは装置前面に配置し、カートリッジ式を採用したことにより簡便に取り外しが可能であること
2-1-23	自動プライミング時の洗浄液を外部に漏洩することなく捨てることが可能な機能(排液ポート)を有すること
2-1-24	装置から透析用水作成装置へ送水要求信号を出力、透析用水作成装置から消毒送水中信号を入力して、給水管薬液消毒を安全に実施することが可能であること
2-1-25	装置の警報・報知のメール配信及び稼働状況の遠隔モニタリングを可能とする、遠隔監視サービス「ReMS」への接続が可能であること
2-1-26	装置の移動が速やかに行えるよう、車輪の大型化、押手の取り付け、および透析原液を載せて移動することが可能であること
2-2	個人用多用途透析装置は、以下の要件を満たすこと
2-2-1	外形寸法は、W330mm×D470mm×H1,350mm(突起物を含まない)以下であること
2-2-2	質量は60kg(標準仕様)以下であること
2-2-3	最大消費電力は、1.5kW未満であること
2-2-4	透析液流量は、300～700ml/minの範囲以上であること
2-2-5	HD、ECUM、IHDFの透析治療モード全てに対応していること
2-2-6	透析液(正ろ過方式)を使用したプライミング、返血に対応していること
2-2-7	血液回路のプライミングの自動化、及び血液脱血工程、緊急補液、返血工程の自動化機能を有すること
2-2-8	血液ポンプの流量設定範囲は、40～350ml/minの範囲以上であること (外径9.7mm、内径6.6mmのポンプしごき部使用時)
2-2-9	血圧計ユニットが内蔵されていること
2-2-10	血圧計は加圧測定方式を採用していること
2-2-11	血圧計で血圧を測定した際に得られる振幅データをグラフ表示することが可能であること
2-2-12	血流量、透析液流量を最大10ステップまで細かくプログラム設定することが可能であること
2-2-13	IHDFにおいて、補液量と回収量を各々最大16ステップまでプログラムを設定することが可能であること
2-2-14	BV計が搭載され、循環血液量の変化率を測定することが可能であること
2-2-15	循環血液量の変化率をもとに、除水速度を制御する機能を有すること
2-2-16	VA再循環率測定機能を有すること
2-2-17	静的静脈圧監視機能を有すること

2-2-18	治療中に透析排液のUV吸光度変化率を連続的に測定することでspKt/VとURRを算出し、グラフ表示することが可能であること
2-2-19	エンドトキシン捕捉フィルタは装置前面に配置し、カートリッジ式を採用したことにより簡便に取り外しが可能であること
2-2-20	自動プライミング時の洗浄液を外部に漏洩することなく捨てることが可能な機能(排液ポート)を有すること
2-2-21	装置から透析用水作成装置へ送水要求信号を出力、透析用水作成装置から消毒送水中信号を入力して、給水管薬液消毒を安全に実施することが可能であること
2-2-22	装置の警報・報知のメール配信及び稼働状況の遠隔モニタリングを可能とする、遠隔監視サービス「ReMS」への接続が可能であること
2-2-23	装置の移動が速やかに行えるよう、車輪の大型化、押手の取り付け、および透析原液を載せて移動することが可能であること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼働にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	小児科
調達機器名	陽・陰圧体外式人工呼吸器
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1－1	陽・陰圧体外式人工呼吸器	1台
1－2	専用架台 カゴ付	1台
1－3	トルソーチャンバ A	1台
1－4	トルソーチャンバ B	1台
1－5	トルソーチャンバ C	1台
1－6	トルソーチャンバ D	1台
1－7	トルソーチャンバ E	1台
1－8	トルソーチャンバ シールA	1台
1－9	トルソーチャンバ シールB	1台
1－10	トルソーチャンバ シールC	1台
1－11	トルソーチャンバ シールD	1台
1－12	トルソーチャンバ シールE	1台

2. 構成品の仕様

2－1	陽・陰圧体外式人工呼吸器は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	外形寸法はW350mm×D400mm×H310mm以下であること
2-1-2	質量は12kg以下であること
2-1-3	電源はAC100-240V、50/60Hz、500VAであること
2-1-4	トルソーチャンバ(胸あて)を使用し、呼吸補助が可能であること
2-1-5	トルソーチャンバを装着し体外式において、陰圧だけではなく陽圧も設定可能であること
2-1-6	自発呼吸に対して、吸気・呼気ともに同調させる機能を有すること
2-1-7	換気回数を1分間に6～1200回の間で設定可能であること
2-1-8	5種類以上の作動モードを有すること
2-1-9	作動中に異常を知らせるアラーム機能を有すること
2-1-10	画面に波形が2種類以上表示される機能を有すること
2-1-11	作動中に設定値の変更が可能であること
2-1-12	ジョグダイヤルで設定値の変更が可能であること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	消化器内科
調達機器名	高周波手術装置

1. 機器の構成（一式の構成）

1－1	高周波手術装置	1式
1－2	専用1ペダルフットリモート付スイッチ	1個
1－3	専用2ペダルフットリモート付きスイッチ(仕切り板付き)	1個
1－4	ワークステーションカート	1台
1－5	ワイヤーバスケット	1個
1－6	固定具	1式
1－7	モノポーラケーブル 3ピン オリンパス用	2個

2. 機器の仕様

2－1	高周波手術装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	外形寸法はW450mm×D400mm×H400mm以下であること
2-1-2	重量は15kg以下であること
2-1-3	電源はAC100Vであること
2-1-4	接続口数は2口以上有すること
2-1-5	フットスイッチ接続数は2口以上有すること
2-1-6	全てのモードは電圧を一定に維持し、かつ組織状況に応じ出力を自動的に調整する機能を有すること
2-1-7	組織効果の再現性を高めるため、毎秒2,500万回(以上)に先で抵抗を計測する機能を有すること
2-1-8	手術領域に適合した切開・凝固モードを18種類以上搭載していること
2-1-9	電弧の強度を一定に自動的に維持するモノポーラ切開モードを有すること
2-1-10	組織の状態に合わせてモジュレーションを機動的に調整するモード有すること
2-1-11	200Vp以下のバイポーラ及びモノポーラ凝固モードを有すること
2-1-12	切開と凝固フェーズをインターバルで繰り返す切開モードを有すること
2-1-13	設定変更は簡便な操作が可能となるようエフェクト設定のみでの調整が行えること
2-1-14	安全性を高めるため装置に内蔵されている対極板安全システムは、2面型対極板接続時において、接触状態と対極板の装着方向の両方を監視可能であること
2-1-15	様々な術式により異なった設定が可能となるよう300個以上のプログラム保存が可能であり、1つのプログラムに6個以上のサブプログラム作成が可能であること
2-1-16	デバイス認識機能によりデバイスを接続すると、ディスプレイにアイコン表示される機能を有すること

2-1-17	デバイスの誤接続を防止するため、プログラムされた設定を基に接続すべきソケットを提示する機能を有すること
2-1-18	専用のソフトウェアを利用し、WiFi通信によりユーザープログラムの作成、更新、エラー解析が行え、サーバ上に各種データを保管することが可能であること
2-1-19	10インチ以上のタッチスクリーンディスプレイを有すること
2-1-20	日本語表示を含む多言語表示機能を有すること
2-1-21	手技の必要性に応じて3つ以上のアクセサリを同時に接続可能であること
2-1-22	器具を装着するソケットは本体を開けることなく交換が可能であること
2-2	専用1ペダルフットリモート付スイッチは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	設定を切り替えるための機能を有すること
2-2-2	IPX8以上の防水規格を有すること
2-3	専用2ペダルフットリモート付きスイッチ(仕切り板付き)は、以下の要件を満たすこと
2-3-1	設定を切り替えるための機能を有すること
2-3-2	IPX8以上の防水規格を有すること
2-4	ワークステーションカートは、以下の要件を満たすこと
2-4-1	フットスイッチを止め置くためのブラケットを有すること
2-4-2	本体専用の架台であること
2-4-3	ストップ付キャスタを有すること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	集中治療室
調達機器名	超音波画像診断装置
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	超音波画像診断装置	1台
1-2	リアプロンプ	1式
1-3	専用カートまたはスタンド	1式

2. 構成品の仕様

2-1	超音波画像診断装置は、以下の要件を満たすこと	
2-1-1	外形寸法はW600mm×D650mm×H1,800mm以下であること(専用カートまたはスタンドを含む)	
2-1-2	質量は70kg以下であること(専用カートまたはスタンド、バッテリー含む)	
2-1-3	電源はAC100-240V、50/60Hz、600VA以下であること	
2-1-4	Bモード、カラード플ラ、パワード플ラ、パルスド플ラの機能を有すること	
2-1-5	ワンボタンで表示画像を最適な状態にするゲイン自動調整機能を有すること	
2-1-6	スタンバイ機能を有すること。電源投入状態からは120秒以内に起動すること	
2-1-7	モニタサイズは12インチ以上であること	
2-1-8	搭載されているバッテリーがフル充電の状態であれば、約1時間以上の駆動が可能であること	
2-1-9	画像表示モニタは全面タッチパネル、又は医療用手袋で操作可能なマルチタッチスクリーンであること	
2-1-10	画像保存容量は60GB以上を有すること	
2-1-11	保存画像データから、患者ID、患者名などで過去の検査の画像データを検索可能であること	
2-1-12	保存された画像データは、USBポートまたはSDカードスロットから、汎用PCで使用可能なデータ形式で出力が可能であること	
2-1-13	穿刺ターゲットまでの距離や組織の大きさなどを確認するために、フリーズ後の画像において、距離、角度、周囲長、面積の計測が可能であること	
2-1-14	専用カートまたはスタンド、あるいは画像表示モニタはフル機構を有し角度調整が可能であること	
2-1-15	DICOM3.0に準拠した外部接続機能を有すること	
2-1-16	リアルタイムに血管の血流量を計測する機能を有すること	
2-2	リアプロンプは、以下の要件を満たすこと	
2-2-1	実効周波数帯域は4～12MHzの範囲以上であること	

2-3	専用カートまたはスタンドは、以下の要件を満たすこと
2-3-1	超音波画像診断装置本体を載せるための専用カートまたはスタンドであること
2-3-2	操作者が座位及び立位での使用時にも対応可能なよう360mm以下の幅で診断装置の高さを調整することが可能であること
2-3-3	手技や処置に必要な物品を収納するバスケットを装備していること
2-3-4	4個以上のキャスタを有すること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	臨床工学室
調達機器名	テレメトリー式心電送信機

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	送信機	10台
-----	-----	-----

2. 機器の仕様

2-1	送信機については、以下の要件を満たすこと
2-1-1	寸法はW65mm×D30mm×H100mm以下であること
2-1-2	本体に20.1×20.1mmのカラー有機ELディスプレイを有すること
2-1-3	心電図測定時に、心電図波形の表示が可能であること
2-1-4	チャージ、電池残量などの表示が可能であること
2-1-5	単3乾電池2本により連続約5日間以上の駆動が可能であること
2-1-6	心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度の測定が可能であること
2-1-7	通信は電波法に定められた小電力医用テレメータに準拠していること
2-1-8	電波法に定められた電波帯の有効活用を考慮しA型を採用していること
2-1-9	院内既存の病棟テレメータにデータを送信することが可能であること
2-1-10	誤操作を防ぐため操作キーロック機能を有すること
2-1-11	IPX8の防水構造で消毒剤などに浸して清掃・消毒が可能であること(本体のみ)

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	小児科
調達機器名	閉鎖式保育器
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	閉鎖式保育器	1台
1-2	モニタSp02ユニット	1個
1-3	四連コンセントセット	1組
1-4	トレイセット	1個
1-5	患者回路導入ホルダ	1個
1-6	バスケット	1個
1-7	クランク型I.V.ポール	1個

2. 構成品の仕様

2-1	保育器本体は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	寸法はW1,050mm×D680×H1,800mm以下であること(表示器含まず)
2-1-2	質量は115kg以下であること
2-1-3	電源は、AC100V、50/60Hz共用、600VAであること
2-1-4	温度制御は、マニュアルコントロール方式/サーボコントロール方式兼用であること
2-1-5	器内騒音は40dB以下であること(加湿、酸素投与をしていない時)
2-1-6	アラーム停止用のフットスイッチを有すること
2-1-7	器内に外気を取り込む際に防塵除去が可能な静電フィルタを有すること
2-1-8	処置窓の開閉部に静音構造のロータリーバンプを有すること
2-1-9	高さ調整機能を有すること
2-1-10	器内の温度設定は0.1℃単位の設定が可能であること
2-1-11	ボイラーと加湿槽の内蔵により、相対湿度90%以上の加湿が可能であること
2-1-12	加湿回路の部品は取り外しての清拭・消毒が可能であること
2-1-13	酸素量の自動制御が可能であること
2-1-14	コントロールパネルは、タッチパネルで本体と独立して見やすい位置に搭載していること
2-1-15	器内温・皮膚温・器内湿度・器内酸素濃度すべてのパラメータがリアルタイムにしかも常時モニタリング可能な機能を有すること
2-1-16	トレンド表示機能により、バイタルサインと器内環境の変動がグラフにより確認できる機能を有すること

2-1-17	フートの両側から操作・処置できる機能を有すること
2-1-18	前後のフートに内壁を有すること
2-1-19	処置窓や手入用窓の開放時には、エアカーテンが形成される機能を有すること
2-1-20	臥床台の引き出し、傾斜が無段階にできる機能を有すること
2-1-21	X線カセットレールが処置窓を開けずに出し入れできる機能を有すること
2-1-22	フィルタカバーに透明な窓がついており、工具を使わずにフィルタ交換が可能な機能を有すること
2-2	マシモSpO2ユニットは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	表示範囲は1～100%であること
2-2-2	上限、下限の警報機能を有すること
2-3	四連コンセントは、以下の要件を満たすこと
2-3-1	レールに取付け可能であること
2-4	トレセットは、以下の要件を満たすこと
2-4-1	レールに取付け可能であること
2-5	患者回路導入ホルダーは、以下の要件を満たすこと
2-5-1	アーム付であること
2-6	バスケットは、以下の要件を満たすこと
2-6-1	アーム付でレールに取付け可能であること
2-7	クランク型 IV ホールは、以下の要件を満たすこと
2-7-1	保育器に取付け可能であること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	看護局
調達機器名	電動リモートコントロールベッド
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	電動リモートコントロールベッド	13台
-----	-----------------	-----

2. 構成品の仕様

2-1	電動リモートコントロールベッドは、以下の要件を満たすこと
2-1-1	背・膝の角度、高さの調節が単独で操作可能であること。 各動作は、手元スイッチ操作によりそれぞれ独立した電動アクチュエータで作動すること
2-1-2	使用者の感電を防ぐため、分割された各鋼板ボトムを等電位接地し、電源ケーブルは保護接地端子(アース端子)を含む3Pプラグであること
2-1-3	緊急時には、ピンを取外すことにより背ボトムを下げる事が可能であること
2-1-4	高さ調節機構は垂直昇降方式であること
2-1-5	背上げと膝上げ・膝下げの連動動作時における体のずれ、腹部圧迫を軽減するために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視(測定)し、制御することであらかじめ設定したパターンにて動作すること。なお、体のずれが生じないように、背上げと同時に膝上げ・膝下げの動作をすること。また、膝ボトムが背上げ後の端座位への移行の妨げとならないよう、背ボトム角度が75°に達した時に、膝ボトム角度は0°となるよう制御が働くこと
2-1-6	背下げと膝上げ・膝下げの連動は、動作時における体のずれを軽減し、更に所定の位置へ体を戻すために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視(測定)し、制御することであらかじめ設定したパターンにて動作すること。なお、前項の背上げの連動と異なったパターンの動作を行い、体のずれが生じないように、背下げと同時に膝上げ・膝下げの動作をすること
2-1-7	2-1-5、2-1-6項の連動は、1ボタンで操作可能であること
2-1-8	背ボトムに6ヶ所、膝ボトムに2ヶ所、足ボトムに4ヶ所、メインフレームに2ヶ所、抑制帯を取り付けることが可能であること
2-1-9	寸法はW960mm×L2,210mm×H1,100mm以下であること
2-1-10	ボトムは、以下の要件を満たすこと
2-1-10-1	ボトムは3分割の鋼板ボトムと1分割の樹脂ボトムで構成されていること
2-1-10-2	鋼板ボトムは主材を鋼板とし、成形絞りにより強度を確保していること。また、通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトムに複数の通気孔を有すること
2-1-10-3	背・膝・足の各ボトムは、面形状であること。また、背ボトムと膝ボトム、膝ボトムと足ボトムの連結部は、清拭性を考慮したすき間を有すること
2-1-10-4	抑制帯を取付けるための孔(抑制帯受)を有すること

2-1-10-5	背ボトムと膝ボトムの連結部にはギヤッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るため、短冊状に構成された屈曲ボトムにより緩やかな曲線を構成し、かつ伸びる機構を有すること
2-1-10-6	足ボトムは使用者に適したベッドポジションが確保可能なよう、2段階の角度調節機能を有すること
2-1-10-7	マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制させるため、マットレス止めを有すること
2-1-11	メインフレームは、以下の要件を満たすこと
2-1-11-1	サイドフレーム上面はオプション品取付孔を14ヶ所(片側7ヶ所)を有すること
2-1-11-2	2-1-11-1のオプション品取付孔は、不安全なすき間が生じることを予防するため、不適切なサイドレール等とベッドの組み合わせを防止したり、不適切な向きや位置にサイドレール等が取り付くことを防止する構造であること
2-1-11-3	ベッドが物品などに接触した場合、接触した物品およびベッドのボトムやメインフレームなどの傷つき防止のため、サイドフレームに樹脂製サイドバンパーを有すること
2-1-11-4	サイドフレームの樹脂製サイドバンパーは、破損した場合など単独で交換可能な構造であること
2-1-11-5	フットエンドフレームにサイドレール格納金具を有すること
2-1-11-6	手元スイッチコネクタをメインフレームの両側面(左右各1ヶ所)、およびフットエンドフレーム(1ヶ所)に備え、使用環境に応じて手元スイッチを接続可能であること。なお、手元スイッチの接続位置を変更する際、ケーブルがベッド内側の不適切な位置に通され、リンク機構に挟まれて断線・漏電することを予防するため、各手元スイッチコネクタはリンク機構よりベッドの外側に配置されていること
2-1-11-7	2-1-5の連動動作パターンによる体のずれ・腹部圧迫の軽減の効果を十分に発揮させるために、患者の適切な身体位置の目安として、ベッドのメインフレームに大転子位置表示を有すること
2-1-12	ベースフレームは、以下の要件を満たすこと
2-1-12-1	角型鋼管で構成され、車椅子等の移乗のしやすさおよび看護時における足の安全確保のため、幅方向の寸法をキャスタ取付幅寸法より小さいこと
2-1-12-2	キャスタ取付部には、デザイン性および強度確保のため、ダクタイルによる受金具を有すること
2-1-12-3	キャスタロック作動用連動バーは、清掃性のために長手角パイプに内蔵していること
2-1-12-4	バリアフリー法の勾配基準の上限である1/12勾配の傾斜路において、ベッドのベースフレームと路面とのすき間が最も狭くなる傾斜路の頂点でも、ベッドが路面に接触せず走行可能な構造であること
2-1-13	キャスタは、以下の要件を満たすこと
2-1-13-1	セントラルロック単輪キャスタとし、車輪径125mm以上であること。キャスタ操作ステップにより、4輪同時固定(首振り・回転固定)、4輪自在の切り替えが可能であること
2-1-13-2	ベッドに静電気が蓄積されるのを防ぐため、4輪のうち1輪は帯電防止キャスタであること
2-1-13-3	車輪の材質はポリウレタン樹脂製で、耐磨耗性・耐老化性・耐油性を有すること。特にワックスによる劣化が少ないこと
2-1-14	ヘッドボード・フットボードは、以下の要点を満たすこと
2-1-14-1	ヘッドボード及びフットボードは着脱が可能かつ、不用意な外れを防ぐためストッパーを有すること。ボード取り付け時にロックし忘れを防止し、確実にストッパーがかかるよう、自動ロック機構であること
2-1-14-2	主材料には耐薬品性樹脂が用いられていること
2-1-14-3	片面は装飾用に化粧シートが貼付けられていること

2-1-14-4	上部側の左右は握りやすい形状であること
2-1-14-5	伝い歩きなどを考慮し、上部がつかまりやすい形状であること
2-1-15	電動アクチュエータおよび電装品は、以下の要件を満たすこと
2-1-15-1	電装品はクラスⅠ機器(保護接地付)であること
2-1-15-2	手元スイッチコネクタの電圧は、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため5V以下であること
2-1-15-3	ベッド上の重量にかかわらず各動作は一定の速度で上昇・下降が可能であること
2-1-15-4	電装品は電源をオフにしても各設定情報の保持が可能であること
2-1-15-5	背、膝、高さ調節はポジション確保が適切に行えるよう、普通・速いの2段階の速度切り換え設定が可能であること。速いで設定した場合、高さ調節は、約410mmの調節量を約22秒で動作可能で、背上げの傾斜角度は最大角度まで約24秒で動作し、膝上げの傾斜角度は最大角度まで約10秒で動作可能であること
2-1-15-6	ベッド操作時の患者の圧迫を防ぐため、背・膝ボトムの角度が、通常の動作中に常に90°以上の角度を確保する制御がされること
2-1-15-7	高さ下げ操作時にはメインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品などの挟まれを防ぐため、ボトムの高さが330mmの位置で一旦停止し警告音が鳴ること。再度高さの下げ操作を行う際も警告音を繰り返し鳴らし、最低位置まで下降すること。その際はベッド動作速度が速いモードであっても低速モードの速さで動作すること
2-1-15-8	コントローラは過電流・過熱等に対する安全対策機能を有すること
2-1-15-9	電源プラグは3Pプラグであること
2-1-15-10	電源コードはキャスタによる踏みつけや不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外径9.2mm以上のケーブルを採用していること
2-1-15-11	電源コードは、搬送するときに電源コードが床面に垂れ下がらないよう、垂れ下がりを防ぐフックを備え、任意の位置に引っ掛けることが可能であること
2-1-15-12	ベッドの動作開始時および停止時には、緩やかにベッドの動作速度を加速・減速させる制御が働くこと
2-1-16	表面処理は、以下の要件を満たすこと
2-1-16-1	主要部分の構造材外側の表面処理は、錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とし、色はホワイトパウダーであること
2-1-16-2	主要部分の構造材(パイプなど)の内側の錆防止のため、構造材内側の表面処理に電着焼付塗装が施されていること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	集中治療室
調達機器名	ICUベッド
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	ICUベッド 本体	2台
1-2	エアマットレス	2台
1-3	手元スイッチ	2個
1-4	ベッド機能の操作/表示機能	2個
1-5	離床用グリップ (2本セット)	2組
1-6	酸素ボンベホルダー	2個
1-7	ベッド-マットレス接続ケーブル	2個
1-8	ナースコール中継ユニット	2個

2. 構成品の仕様

2-1	ICUベッド本体は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	寸法はW1,000×L2,200×H1,200mm以下であること
2-1-2	質量は170kg以下であること
2-1-3	背あげ・膝あげ・ハイロー・トレンデレンバーグ (以下TRと略す)およびリバー・ストレンデレンバーグ (以下RTRと略す)が単独で操作可能であること。また、背あげと膝あげ、あるいは背あげと膝あげと傾斜は連動して操作可能かつ、各動作は電動アクチュエータで作動すること
2-1-4	ベッド操作は、患者用操作スイッチ、医療従事者用操作スイッチにより作動すること
2-1-5	背あげおよび膝あげの連動はギヤッチ動作における体のずれ、腹部圧迫を軽減するために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視(測定)し、制御することであらかじめ設定したパターンにて動作すること。ただし、膝ボトムが背あげ後の端座位への移行の妨げとならないよう、背ボトム角度が70°に達した時に、膝ボトム角度が0°となるよう制御すること。1ボタンの操作で本ポジションに動作させることが可能であること
2-1-6	背あげ・膝あげおよび傾斜の連動は、ベッド上で安楽な受動座位姿勢をとるため、ギヤッチ動作における体のずれや腹部圧迫をより軽減するために、背ボトムと膝ボトムの角度および傾斜角度を常に監視(測定)し、制御することであらかじめ設定したパターンにて動作すること。なお、前項の背あげの連動とは異なったパターンの動作をすること。1ボタンの操作で本ポジションに動作させることが可能であること
2-1-7	使用者の感電を防ぐためや、心電計のハムノイズの混入を防ぐためなどに、分割された各フレームを保護接地し、電源ケーブルは保護接地端子(アース端子)を含む3Pプラグを有すること
2-1-8	夜間の安全性に配慮し、ベッドの左右に脚下灯を有すること
2-1-9	ボトム部は、以下の要件を満たすこと

2-1-9-1	背・腰・膝・足の4分割構造で、主材料は樹脂素材および鋼管であること
2-1-9-2	背ボトムはギヤッチ時のずれや圧迫を軽減するための機構を有すること
2-1-9-3	背ボトムには緊急背さげをするための操作バーを有すること
2-1-10	メインフレーム部は、以下の要件を満たすこと
2-1-10-1	鋼管および鋼板を主材料とした構造であること
2-1-10-2	頭側にはヘッドボードの取り付けが可能で、オプション取付穴およびローラーバンパーを有する構造であること
2-1-10-3	足側にはフットボードの取り付けが可能で、オプション取付穴およびローラーバンパーを有し、離床用グリップを格納可能な構造であること
2-1-11	ベースフレーム部は、以下の要件を満たすこと
2-1-11-1	角型鋼管で構成され、車椅子等の移乗のしやすさおよび看護時における足の安全確保のため、幅方向の寸法をキャスタ取付幅寸法より小さいこと
2-1-11-2	バリアフリー法の勾配基準の上限である1/12勾配の傾斜路において、ベッドのベースフレームと路面とのすき間が最も狭くなる傾斜路の頂点でも、ベッドが路面に接触せず走行可能な構造であること。なお、ベッドがいかなる床高においても当てはまること
2-1-12	キャスタ部は、以下の要件を満たすこと
2-1-12-1	セントラルロック単輪キャスタとし、車輪径12.5cmであること。キャスタロックの切り替えペダルにより、4輪同時固定(首振り・回転)、4輪同時自在の切り替えが可能であること
2-1-13	ヘッドボード・フットボード部は、以下の要件を満たすこと
2-1-13-1	容易に着脱可能かつ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを有すること
2-1-13-2	清拭消毒による劣化等を防止するために、主材料は耐薬品性樹脂であること
2-1-14	サイドレール部は、以下の要件を満たすこと
2-1-14-1	頭側にはボトム取付型、足側にはメインフレーム取付型のサイドレールを有すること。サイドレールは回転式の構造であること
2-1-14-2	ロックの構造は、サイドレールの下方向もしくはベッドの外側方向に荷重がかかっている場合には、解除しにくくなる構造であること
2-1-14-3	頭側のサイドレールには手元スイッチを格納するための凹部を有すること。また、各種ラインを通し、かつ離床時には支えとして握るための凹部が設けられていること
2-1-14-4	頭側のサイドレールには背角度計、足側のサイドレールにはベッドの傾斜角度計があり、それぞれ背角度と傾斜角度を確認することが可能であること
2-1-14-5	頭側のサイドレールの外側に医療従事者用操作スイッチを有し、頭側のサイドレールの内側に、患者用操作スイッチを有すること
2-1-15	電動アクチュエータおよび電装品システムは、以下の要件を満たすこと
2-1-15-1	電装品は、他の機器からのおよび他の機器へのノイズ等による影響、例えば、ベッド自体やベッド周辺の他の機器の故障・誤作動・測定障害などを軽減させるため、クラスI機器とし、電源プラグは3Pプラグ(保護接地端子付)であること
2-1-15-2	コントローラは、故障・発煙等を防止するための過電流・過熱等に対する安全対策機能を有すること
2-1-16	患者用操作スイッチは、以下の要件を満たすこと
2-1-16-1	患者用操作スイッチとして、頭側サイドレールの内側にベッドの操作ボタン(押しボタン)を有すること。なお、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため、操作ボタンの電源電圧は5Vであること
2-1-16-2	機器を充電するためのUSBコネクタを有すること

2-1-17	医療従事者用操作スイッチは、以下の要件を満たすこと
2-1-17-1	医療従事者用操作スイッチとして、頭側サイドレールの外側にベッドの操作ボタン(押しボタン)を有すること。なお、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため、操作ボタンの電源電圧は5Vであること
2-1-17-2	夜間の安全性に配慮し、ベッドの左右に脚下灯を有すること。脚下灯は照度を2段階調節可能であり、消灯することも可能な機能を有すること
2-1-18	表面処理は、以下の要件を満たすこと
2-1-18-1	主要部材(ボトム天板部を除く)の表面処理は、構造材内側の錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とし、色はホワイトカラーであること
2-1-18-2	ヘッド、サイドレール、ボトム、サイドレールのスイッチは、抗菌素材(銀イオン)を組み込むことで、抗菌性を有しており、SIAA(抗菌製品技術協議会)マークを有すること
2-2	エアマットレスは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	厚み17cmで防水透湿カバーの清拭タイプであること
2-2-2	体位変換用のエアセルを左右の臀部・背部、計4か所に配しており、約15分ごとに1か所ずつ膨張する位置を自動で切り替えることで体位変換を行うスローフロー機能を有すること
2-2-3	エアセルが2本おきに順次、収縮・膨張を繰り返すことで、同じ箇所に圧力が加わり続けるのを防ぎ、褥瘡リスクを軽減する機能を有すること。また、この機能は背上げ中も動作すること
2-2-4	エアマットレスのカバー内部に送風することで、こもった熱や湿気をカバー外部に透過する除湿機能を有すること
2-2-5	ポンプに取り付けられたカプリングを抜去することでエアマットレスの空気が排気され、30秒以内に胸部圧迫による心臓マッサージに適したかたさにするCPR機能を有すること
2-2-6	エアマットレスのかたさを自動で設定するかたさ自動運転と、手動で設定するかたさ手動運転を切り替えることが可能であること
2-2-7	エアマットレスのエアセルの直下には厚さ40mmのウレタンフォーム層を配し、患者の底づきのリスクを軽減し、患者をエアセルにより沈み込ませることで、体圧分散性が可能であること。また、ウレタンフォームが沈み込むことでエアセルが患者の身体の凹凸により追従すること
2-2-8	上面カバーは汚物が生地内部へ侵入するのを防ぎ、かつ耐薬品性に優れ、濃1%(10000ppm)の次亜塩素酸ナトリウム消毒液の他、感染防止のための消毒薬による清拭が可能であること
2-2-9	体位変換用のエアセルは、メインのエアセルに直接ベルトで固定されており、メインのエアセルと一体の状態でカバーから出し入れすることが可能であること
2-2-10	ポンプはマットレスに内蔵されていること
2-2-11	ターボ運転機能により、エアマットレス設置時、10分程度で給気が完了することが可能であること
2-2-12	給気バルブに電磁弁を採用し、エア漏れが発生しにくい構造であること。停電時には電磁弁が自動的に閉じ、2週間はほぼ一定の内圧を保持することが可能であること
2-2-13	操作パネルはタッチパネルを採用しており、パネル表面はボタンの凹凸がなく、手の皮脂などの汚れを拭き取ることが可能であること
2-2-14	操作パネルのコードおよびフックは取り外し可能であること
2-3	手元スイッチは、以下の要件を満たすこと
2-3-1	コントローラから供給される電源電圧は、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため5Vであること

2-3-2	ベッド本体に接続することで、背・膝・高さの単独動作および背膝連動動作を操作可能であること
2-3-3	ベッド操作をする操作ボタン(押しボタン)を有し、操作ボタンを押している間のみ、ベッドが動作すること
2-3-4	動作速度の切換え、および操作音の有無を変更可能であること
2-3-5	表示パネルを設け、背・膝の角度、高さを表示すること。表示パネルは各操作から20秒後に表示内容を自動的に消去する機能を有すること
2-3-6	プラグは、向きによらずベッド本体に接続可能であること
2-3-7	手元スイッチのコードはカール構造であること
2-4	ベッド機能の操作/表示機能は、以下の要件を満たすこと
2-4-1	患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため、電源電圧は5Vであること
2-4-2	ベッドに接続することにより、次の操作が可能であること ベッド操作、ベッド設定、本機能の環境設定、離床検知センサの設定
2-4-3	4.3インチの液晶タッチパネルを搭載していること
2-5	離床用グリップ(2本セット)は、以下の要件を満たすこと
2-5-1	ベッド本体の離床用グリップ取付穴に差込み、使用者のベッドからの立上りなどを補助することが可能であること
2-5-2	固定時に工具は不要な設計であること
2-5-3	グリップ部の上部にエストラマを採用していること
2-5-4	カバーは耐薬品樹脂製であること
2-5-5	ベッドのメインフレームの足に格納可能であること
2-5-6	フレーム部はクロームメッキ処理が表面に施されていること
2-6	酸素ボンベホルダーは、以下の要件を満たすこと
2-6-1	ベッドに対し、長さ方向・幅方向の二方向に取付可能な設計であること
2-6-2	500リットル容量の酸素ボンベを縦置に固定可能な構造であること
2-6-3	主材は鋼板・棒鋼かつ、表面はクロムメッキ処理が施されていること
2-6-4	酸素ボンベは付属のノブ(1個)で固定することが可能であること
2-7	ベッド-マットレス接続ケーブルは、以下の要件を満たすこと
2-7-1	ベッドへの接続用プラグを有し、ベッドとマットレスの接続が可能であること
2-7-2	エアマットレスのポンプ本体への接続用プラグを有し、エアマットレスとの接続が可能であること
2-7-3	ベッドとエアマットレスの情報の送受信と、ベッドからエアマットレスへの電源供給が可能であること
2-8	ナースコール中継ユニットは、以下の要件を満たすこと
2-8-1	離床検知センサ付きベッドと病院既設のナースコールコンセントに接続することで、発報及び通知機能設定が可能であること
2-8-2	病院既設のナースコールボタンを本製品に接続することで、ナースコールボタンの信号をナースコールコンセントへ分岐可能であること
2-8-3	離床検知センサ付きベッドで検知した、下記使用者の状態をナースコール側に通知することが可能であること ・見守り/ベッドから患者が離床して設定時間が経過したとき ・離床/ベッドから患者が完全に離床したとき ・端座位/ベッド上で端座位をとったとき ・起きあがり/ベッド上で患者が起き上がったとき

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	産婦人科
調達機器名	診療ユニット
調達数量	一式

1. 機器の構成

1－1	診療ユニット 乾式クソウォーマ/洗浄装置付	2台
1－2	サイトレー	2個
1－3	鉗子立ホルダ	2個
1－4	診察用照明	2台

2. 機器の仕様

2－1	診療ユニットは、以下の要件を満たすこと	
2-1-1	本体寸法は、W510×D380×H950mm以下であること	
2-1-2	本体重量は、50kg以下であること	
2-1-3	電源は、AC100V、50/60Hz、190VAであること	
2-1-4	クソを適温に温める機能を有すること	
2-1-5	洗浄装置を本体に内蔵していること	
2-1-6	クソウォーマ、洗浄液の温度は3段階に設定可能なこと	
2-1-7	クソウォーマ、洗浄液の温度が一定以上に達した場合には、ヒータを遮断し警報音と表示で報知する過温防止機構を有すること	
2-1-8	洗浄液不足、クソ保温槽がヒータ上にセットされていない状態で保温を行った場合の安全機構として、空焚防止機構を有すること	
2-1-9	電源コードを有すること	
2－2	サイトレーは、以下の要件を満たすこと	
2-2-1	深型であること	
2－3	鉗子立ホルダは、以下の要件を満たすこと	
2-3-1	本体取付式であること	
2-3-2	嘴管差2個を有すること	
2－4	診察用照明は、以下の要件を満たすこと	
2-4-1	フットスイッチ操作が可能なこと	

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置の納品にあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-5	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-6	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-7	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-8	納入から1年間は無償保証の体制であること
3-1-9	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事 及び試運転調整費を見積に含むこと
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付及び試運転に係る費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	脳神経外科
調達機器名	頭部手術用固定器
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	ベースユニット	1台
1-2	回転アダプタ	1台
1-3	三点固定器	1台
1-4	大人用スクリュー	6本

2. 構成品の仕様

2-1	ベースユニットは、以下の要件を満たすこと
2-1-1	ミズホ社製の手術台に接続することが可能であること
2-1-2	1-2回転アダプタと1-3三点固定器と接続することが可能であること
2-1-3	ダブルロックアクションハンドルにより安全に固定が行えること
2-2	回転アダプタは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	1-1ベースユニットと1-3三点固定器を接続することが可能であること
2-3	三点固定器は、以下の要件を満たすこと
2-3-1	W190～340mmに対応していること
2-3-2	1-1ベースユニットと1-2回転アダプタとの接続を介して、特定の位置での頭部固定が可能であること
2-3-3	材質はアルミニウム合金、ステンレス鋼であること
2-3-4	大人用スクリュー、小児用スクリューの両方の使用が可能であること
2-3-5	70%イソプロピルアルコールによる清拭が可能であること
2-4	大人用スクリューは、以下の要件を満たすこと
2-4-1	製造元の認可するスクリューであること
2-4-2	リユーザブルタイプであること
2-4-3	スクリュー先端部および本体部の材質はステンレスであること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	産婦人科病棟
調達機器名	分娩監視装置
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	分娩監視装置	1台
1-2	レコーダーユニット	1台
1-3	レコーダーユニット取付キット	1式
1-4	ゲル取付キット	1式
1-5	ハーコートリーダ	1台
1-6	ハーコートリーダ取付キット	1式
1-7	架台	1台
1-8	双胎セット	1組

2. 機器の仕様

2-1	分娩監視装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	外形寸法はW280×D145×H265mm以下であること
2-1-2	質量は2.5kg以下であること
2-1-3	架台からワンタッチで着脱することが可能なこと
2-1-4	バッテリーが内蔵されていること
2-1-5	無線LANが内蔵されていること
2-1-6	10.1型TFT液晶タッチパネル、解像度1280×800(WXGA)の表示部を有すること
2-1-7	内診所見等の記録を入力可能なこと
2-1-8	波形表示は、10分・15分・40分・記録紙と同等サイズの実寸表示より選択可能なこと
2-1-9	数値のみの表示が可能なこと
2-1-10	外測法(ストレインゲージ)による陣痛計測機能を有し、併せて陣痛周期を自動算出する機能を有すること
2-1-11	内診所見として、子宮口開大・展退度・下降度・体温・出血量を入力可能な機能を有すること
2-1-12	児娩出入力後、アプガースコアを入力可能な機能を有すること。また設定によりアプガータイマが作動する機能を有すること
2-1-13	胎児心拍数は、超音波ドプラ法によって検出されること。また、心拍信号はスピーカを通して聴取することが可能なこと
2-1-14	母体心拍数は、母体心電図法によって検出されること

2-1-15	母体非観血血圧は、オシロトリック法によって非観血的に動脈血圧を計測可能なこと
2-2	レコーダユニットは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	本体から送られるリアルタイムデータ、内蔵メモリ保存データ、USBメモリ保存データを記録紙に印字する機能を有すること
2-2-2	記録紙に胎児心拍数・胎動スパイク・胎動ドット3チャンネル、リモートマカ2チャンネル、および陣痛、イベント、内診所見等を印字する機能を有すること
2-2-3	内診所見リスト・イベント入力リスト・アプガースコア・アラート履歴を記録紙に印字可能な機能を有すること
2-3	架台は、以下の要件を満たすこと
2-3-1	外形寸法はW275mm×D145mm×H245mm以下であること
2-3-2	質量は3.5kg以下であること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッティングにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	4階病棟
調達機器名	小児サークルベッド
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	小児サークルベッド 本体	2台
1-2	マットレス	2台

2. 機器の仕様

2-1	小児サークルベッドは、以下の要件を満たすこと
2-1-1	寸法はW1,050mm×L2,100mm×H1,550mm以下であること
2-1-2	キャラクターネームタグを有すること
2-1-3	ボトム部は、以下の要件を満たすこと
2-1-3-1	4分割の鋼板ボトムによる構成であること
2-1-3-2	鋼板ボトムは鋼板を主材とし、成形絞りにより強度が確保されていること。また通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトム面に複数の通気孔を有すること
2-1-3-3	足ボトムは患者の症状によるベッドポジションが確保可能なよう、2段階の角度調節機能を有すること
2-1-3-4	マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制するため、マットレス止めを有すること
2-1-4	メインフレーム部は、以下の要件を満たすこと
2-1-4-1	鋼材を主材とした枠組みであること
2-1-4-2	サイドフレーム側面には、ヘッド・フットフレームの鉛直性確保のため、取付用ステーを有すること
2-1-4-3	フット側下部に背上げ・膝上げ用のクランクハンドルを取り付け、使用しない時は折りたたんでハンドル受へ格納可能であること
2-1-5	ヘッド・フットフレームは、以下の要件を満たすこと
2-1-5-1	アルミを主材とした支柱、棧の枠組みであること
2-1-5-2	支柱の左右には、サイドレールの上下をガイドするガイドレールを有すること。ガイドレールは、定荷重ばねのエッジをカバーするように二重構造とし、内部にはサイドレール高さ調節のためのストッパーを有すること
2-1-5-3	支柱及び縦棧には傷防止及び金属の冷たい感触を無くするための樹脂製カバーを有すること
2-1-5-4	左右下端に傷つき防止のためのゴム製バンパーを有すること
2-1-5-5	それぞれの上棧には、付属品のネームタグを取付けることが可能であること
2-1-6	サイドレールは、以下の要件を満たすこと

2-1-6-1	伸縮スライド式とし、ボトム面からの高さが十分に確保されていること。サイドレールの高さはボトム上面から800mm以上を確保されていること。また、サイドレールをほぼボトム上面まで下げることが可能かつ、下げた状態でも介護者が足を踏み込めるスペースが確保されること
2-1-6-2	材質はアルミ製であること
2-1-6-3	縦棧の間隔は安全寸法確保のため85mm以下であること
2-1-6-4	上下両端には樹脂製スライドガイドを有すること
2-1-6-5	サイドレール操作のために、上部両端はヘッド・フットフレームに備えられた定荷重ばねと連結していること
2-1-6-6	柵の上棧左右に操作バーを2個有し、両手操作により確実かつ安全に3段階の高さ調節が可能であること
2-1-6-7	セーフティロックを有すること
2-1-7	キャスタは、以下の要件を満たすこと
2-1-7-1	セントラルロック双輪キャスタとし、車輪径125mm以上であること。キャスタ操作ステップにより、4輪同時固定(首振り・回転)、4輪自在の切り替えが可能であること
2-1-7-2	ホイール部の材質はポリウレタン樹脂製で、耐磨耗性・耐老化性・耐油性を有すること。特にワックスによる劣化に対し有効であること
2-1-8	表面処理は、以下の要件を満たすこと
2-1-8-1	メインフレームの表面処理は、電着焼付塗装及び粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装であること。電着焼付塗装はアクリル樹脂塗料を使用し、粉体焼付塗装はエポキシ樹脂塗装とする。平均的な塗膜厚みは30μm以上とし、塗装色はホワイトアイボリーであること
2-1-8-2	サイドレールの表面処理は、電着アルマイト(シルバー色)であること
2-1-8-3	ヘッド・フットフレームの表面処理は、電着アルマイト(アイボリー色)であること
2-2	マットレスは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	寸法はW950mm×L1,950mm×T100mm以下であること
2-2-2	質量は7.0kg以下であること
2-2-3	裏表で硬さが異なるリバーシブル仕様であること
2-2-4	カバー部は、以下の要件を満たすこと
2-2-4-1	抗菌機能を有し、清拭による消毒が可能であること
2-2-4-2	ソフト面カバーとハード面カバーによって構成されていること。それぞれの面の色は異なり、ソフト面は製品ロゴとカバーの片側短手1辺に開口用のファストを有し、詰め物の出し入れとカバー交換が可能な構造であること
2-2-4-3	生地はポリエステル繊維にポリウレタンフィルムをコーティングした素材で、防水・抗菌(MRSA)・難燃・耐薬品機能を有し、ソフト面は消臭機能をさらに有する。
2-2-4-4	ファスト部は止水加工が施されていること
2-2-4-5	防水・低透湿加工が施されていること
2-2-4-6	生地材質は、内側：ポリエステル製ニット、外側：ポリウレタンフィルムであること
2-2-4-7	片側側面に1対(2箇所)の取っ手を有すること
2-2-5	詰め物部は、以下の要件を満たすこと
2-2-5-1	ソフト面はポリエステル繊維とウレタンフォーム、ハード面はウレタンフォームのみで構成され、共に難燃機能を有すること

2-2-5-2	背中、臀部、踵の3か所で構造が異なり、背中と踵は同じ3層構造、臀部は4層構造を有すること
2-2-5-3	ソフト面2層(臀部のみ3層)、ハード面1層の3層(臀部のみ4層)構造であること
2-2-5-4	ソフト面は高反発、中硬度ウレタンを組合せ、やわらかい触感と体圧分散性、適度な動きやすさを有すること
2-2-5-5	ハード面のウレタンフォームには底づき防止のため高硬度ウレタンを用いており、このウレタンに背、腰、臀部、大腿、踵の5分割で形状が異なる加工が施されていること。背、踵は同形状で緩やかな波形状、臀部は仙骨に沿った波形状、腰と大腿は同形状で直線とし、体圧分散性と屈曲性を有すること
2-2-5-6	ポリエステル繊維は、シート状のものを連続的に折りたたみ加工した曲がりやすい構造体の半切品であること。また膝部にスリット加工が施されており、膝上げ時の屈曲性を有すること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	リハビリテーション室
調達機器名	低周波治療器
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	低周波治療器	1台
1-2	ゲル導子(極小)	1式
1-3	ゲル2極導子(極小)	1式
1-4	フットスイッチ	1式

2. 構成品の仕様

2-1	低周波治療器は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	寸法はW90mm×D30mm×H190mm以下であること
2-1-2	質量は370g以下であること(リチウム電池含む)
2-1-3	モードは以下の通りであること PA、EA、T、ET、ST、FEE、NMES、TENS、MC、EMG
2-1-4	出力チャンネルは4ch以上を有すること
2-1-5	出力波形は以下の通りであること 矩形波、矩形対称波、双方向矩形波
2-1-6	刺激周波数は以下の通りであること ・PA、EA:1Hz、5～20Hz ・T、ET、ST:1Hz、5～100Hz ・NMES、FEE:1Hz、5～250Hz ・TENS:1～100Hz ・MC:0.1～500Hz
2-1-7	安全装置は以下の通りであること 過充電保護機能、バッテリー通信異常報知機能、電池温度異常監視機能、過電流保護機能、過電圧保護機能、電池残量低下報知機能、操作ロック機能
2-1-8	最大出力電圧は105Vpeak(210Vp-p)(負荷抵抗:2000Ω)であること
2-1-9	最大出力電流は35mA _{rms} (周波数:100Hz、負荷抵抗:500Ω)であること
2-1-10	設定が可能な治療時間は1～60分(MCモードのみ1～480分)の範囲以上であること
2-1-11	電源はDC7.4V(リチウム電池使用時)、DC12V(ACアダプタ使用時)であること
2-1-12	以下の標準付属品を有すること 導子固定バンド×4、IVESゲル導子(角)×4、IVESゲル2極導子(角)×4、 電気刺激用導子コード×4、IVESゲル導子(小)×4、IVESゲル2極導子(小)×4、 付属ベルトドライブ×1、本体スタンドセット×1、電気刺激用ゲル導子×8、 IVES用3極導子コード×2、リチウム電池×1、バンドスイッチセット×1、外部入力中継コード×1、 4ch用保護ケース×1、手指装着型電極FEEセット×1、タッチペン×1、ACアダプタ×1、 歩行センサセット×1、携帯ケース×1

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から6年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	臨床工学室
調達機器名	透析用ベッド
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	透析用ベッド	1台
1-2	ベッドサイドレール(2本)	1組
1-3	マットレス	1式

2. 構成品の仕様

2-1	透析用ベッド本体は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	背・膝の角度、高さの調節が単独で操作可能であること。 各動作は、手元スイッチ操作によりそれぞれ独立した電動アクチュエータで作動すること
2-1-2	背さげと膝あげの連動は、普通速の約2倍の速度にて動作すること
2-1-3	使用者の感電を防ぐため、分割された各鋼板ボトムを等電位接地し、電源ケーブルは保護接地端子(アース端子)を含む3Pプラグであること
2-1-4	緊急時には、ピンを取外すことにより背ボトムを下げる事が可能であること
2-1-5	高さ調節機構は垂直昇降方式であること
2-1-6	メインフレームに2ヶ所、抑制帯を取り付けることが可能であること
2-1-7	寸法はW880mm×L2,120mm×H1,070mm以下であること
2-1-8	ボトムは、以下の要件を満たすこと
2-1-8-1	ボトムは3分割の鋼板ボトムと1分割の鋼管ボトムで構成されていること
2-1-8-2	鋼板ボトムは主材を鋼板とし、成形絞りにより強度を確保していること。また、通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトムに複数の通気孔を有すること
2-1-8-3	各ボトムは、面形状であること。また、背ボトムと腰ボトム、腰ボトムと膝ボトム、膝ボトムと足ボトムの連結部は、清拭性を考慮したすき間を有すること
2-1-8-4	足ボトムは使用者に適したベッドポジションが確保可能なよう、2段階の角度調節機能を有すること
2-1-8-5	マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制させるため、マットレス止めを有すること
2-1-9	メインフレームは、以下の要件を満たすこと
2-1-9-1	サイドフレーム上面はオプション品取付孔を14ヶ所(片側7ヶ所)を有すること
2-1-9-2	2-1-9-1のオプション品取付孔は、不安全なすき間が生じることを予防するため、不適切なサイドレール等とベッドの組み合わせを防止したり、不適切な向きや位置にサイドレール等が取り付くことを防止する構造であること
2-1-9-3	フットエンドフレームにサイドレール格納金具を有すること

2-1-9-4	手元スイッチコネクタをメインフレームの両側面(左右各1ヶ所)、およびフットエンドフレーム(1ヶ所)に備え、使用環境に応じて手元スイッチを接続可能であること。なお、手元スイッチの接続位置を変更する際、ケーブルがベッド内側の不適切な位置に通され、リンク機構に挟まれて断線・漏電することを予防するため、各手元スイッチコネクタはリンク機構よりベッドの外側に配置されていること
2-1-10	ベースフレームは、以下の要件を満たすこと
2-1-10-1	角型鋼管で構成され、車椅子等の移乗のしやすさおよび看護時における足の安全確保のため、幅方向の寸法をキャスタ取付幅寸法より小さいこと
2-1-10-2	キャスタ取付部には、デザイン性および強度確保のため、ダクトによる受金具を有すること
2-1-10-3	キャスタロック作動用連動バーは、清掃性のために長手角 15° に内蔵していること
2-1-10-4	バリアフリー法の勾配基準の上限である1/12勾配の傾斜路において、ベッドのベースフレームと路面とのすき間が最も狭くなる傾斜路の頂点でも、ベッドが路面に接触せず走行可能な構造であること
2-1-11	キャスタは、以下の要件を満たすこと
2-1-11-1	セントラルロック単輪キャスタとし、車輪径100mm以上であること。キャスタ操作ステップにより、4輪同時固定(首振り・回転固定)、4輪自在の切り替えが可能であること
2-1-11-2	ベッドに静電気が蓄積されるのを防ぐため、4輪のうち1輪は帯電防止キャスタであること
2-1-11-3	車輪の材質はポリウレタン樹脂製で、耐磨耗性・耐老化性・耐油性を有すること。特にワックスによる劣化が少ないこと
2-1-12	ヘッドボード・フットボードは、以下の要点を満たすこと
2-1-12-1	ヘッドボード及びフットボードはバンパー付きとし、ベッド搬送の際の傷つき防止を考慮した構造であること
2-1-12-2	ヘッドボード及びフットボードは着脱が可能かつ、不用意な外れを防ぐためストッパーを有すること
2-1-12-3	表面は、オレフィン化粧MDF(芯材:パーティクルボード)であること
2-1-13	電動アクチュエータおよび電装品は、以下の要件を満たすこと
2-1-13-1	電装品はクラスⅠ機器(保護接地付)であること
2-1-13-2	手元スイッチコネクタの電圧は、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため5V以下であること
2-1-13-3	ベッド上の重量にかかわらず各動作は一定の速度で上昇・下降が可能であること
2-1-13-4	電装品は電源を切にしても各設定情報の保持が可能であること
2-1-13-5	背、膝、高さ調節はポジション確保が適切に行えるよう、普通・速いの2段階の速度切り換え設定が可能であること。速いで設定した場合、高さ調節は、約410mmの調節量を約22秒で動作可能で、背上げの傾斜角度は最大角度まで約24秒で動作し、膝上げの傾斜角度は最大角度まで約10秒で動作可能であること
2-1-13-6	ベッド操作時の患者の圧迫を防ぐため、背・膝ボトムの角度が、通常の動作中に常に 90° 以上の角度を確保する制御がされること
2-1-13-7	高さ下げ操作時にはメインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品などの挟まれを防ぐため、ボトムの高さが310mmの位置で一旦停止し警告音が鳴ること。再度高さの下げ操作を行う際も警告音を繰り返し鳴らし、最低位置まで下降すること。その際はベッド動作速度が速いモードであっても低速モードの速さで動作すること
2-1-13-8	コントローラは過電流・過熱等に対する安全対策機能を有すること
2-1-13-9	電源プラグは3Pプラグであること

2-1-13-10	電源コードはキャストによる踏みつけや不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外径9.2mm以上のケーブルを採用していること
2-1-13-11	電源コードは、搬送するときに電源コードが床面に垂れ下がらないよう、垂れ下がりを防ぐフックを備え、任意の位置に引っ掛けることが可能であること
2-1-13-12	ベッドの動作開始時および停止時には、緩やかにベッドの動作速度を加速・減速させる制御が働くこと
2-1-14	手元スイッチは、以下の要件を満たすこと
2-1-14-1	コントローラから供給される電源電圧は、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため5V以下であること
2-1-14-2	ベッド操作をする操作ボタン(押しボタン)を有し、操作ボタンを押している間のみ、ベッドが動作すること
2-1-14-3	緊急時にすぐにショック体位がとれるよう、背さげと膝あげの連動動作を1ボタンで操作可能であること
2-1-14-4	使用者が動作部位を判別しやすいよう、ボタン周りの色を動作部位ごとに色分けし、絵と文字を表示すること。また、電源ランプおよび絵表示ランプにより、暗闇でも手元スイッチの位置・ボタンが識別可能であること。また、ボタン上の矢印(Λ・V)や文字により上げ下げの表示をし、指で触って識別可能なよう上げボタンに突起を有すること
2-1-14-5	不意な操作による挟まれ防止などの安全確保のため、操作ボタンを2つ以上同時に押した場合、誤操作とみなし、動作が停止すること
2-1-14-6	背・膝の角度、高さを表示する表示パネルを有すること。また、省エネのため、一定時間操作がないと、表示パネルが消灯されること
2-1-14-7	異常時には異常箇所を判断するためのエラーコードを、表示パネルに表示されること
2-1-14-8	点検時期の目安を確認可能なよう、表示パネルにインマークが表示されること(設定中のみ)
2-1-14-9	電源のON・OFFは、電源ランプの点灯・消灯にて確認可能であること。また電源ランプの色により、ベッド状態(緑点灯:正常状態、赤点滅:エラー状態)を識別可能であること
2-1-14-10	夜間のまぶしさを低減するためや省エネのため、一定時間操作なしの状態が続くと、絵表示ランプを消灯すること。また加速度センサを搭載し、手元スイッチを持つなどして振動が加わると絵表示ランプが点灯すること
2-1-14-11	ベッドが最低床高になると、高さの絵表示ランプが橙色点灯に切換わる。点灯色により、夜間などの暗所やベッドから多少離れた位置からでも、手元スイッチやベッドヘッドを操作せずに、最低床高になっていることが確認可能であること
2-1-14-12	誤操作の防止や症状に応じて操作を禁止するため、各動作(背あげ、膝あげ、高さ調節)の操作禁止・操作可能を個別に設定可能であること。また、ショック体位動作は、背あげ、膝あげの設定に合わせて操作禁止されること。なお、設定状態は、絵表示ランプの点灯・消灯で確認可能であること
2-1-14-13	ベッドの動作速度の切換機能を有する。なお、設定状態は、設定中のランプの明暗で確認可能であること
2-1-14-14	ボタンが押されたことを確認可能なよう、操作ボタンを押した瞬間にピッと操作音を鳴動する機能を有すること。なお、操作音はON・OFFの切換ができ、設定状態は設定中のランプの明暗で確認可能であること
2-1-14-15	設定(各動作の操作禁止・操作可能、動作速度、操作音)をすべて初期化することが可能であること
2-1-14-16	誤操作防止など安全確保のため、手元スイッチはベッド本体から取外すことが可能であること。また、ベッドに接続するプラグは、向きによらず、手元スイッチコンセントに差込むことが可能であること
2-1-14-17	フックを備え、サイドレール等に設置可能であること

2-1-14-18	カールコート®が床面に垂れ下がり、つまずきや不衛生の原因とならぬよう、カールコート®の垂れ下がりを防ぐコート®クリップ®を備え、任意の位置に引っ掛けることが可能であること
2-1-14-19	本体、フック、カールコート®、コート®クリップ®は個別に交換が可能であること
2-1-15	表面処理は、以下の要件を満たすこと
2-1-15-1	主要部分の構造材外側の表面処理は、錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング®塗装とし、色はホワイトアイボリー®であること
2-1-15-2	主要部分の構造材(パイプ®など)の内側の錆防止のため、構造材内側の表面処理に電着焼付塗装が施されていること
2-2	ベッドサイドレール(2本)は、以下の要件を満たすこと
2-2-1	寸法はW980mm×D70mm×H520mm以下であること
2-2-2	隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みされていること
2-2-3	上部両端部には樹脂製部品を配して鋼管屈曲部の曲率半径を減らし、ベッドサイドレール及びベッド®のボート®との隙間へ身体が挟まりにくい構造であること
2-2-4	差込部は樹脂製キャップ®を配し、取り付け・取り外しが可能であること
2-2-5	本体枠の表面処理は構造内側の錆防止及び表面強度確保のため、電着焼付塗装及び粉体焼付塗装によるダブルコーティング®塗装とし、平均的な塗膜厚みは40μm以上とし、色はホワイトアイボリー®であること
2-3	マットレスは、以下の要件を満たすこと
2-3-1	両面で硬さの異なるリバーシブル仕様であること
2-3-2	ソフト面(やわらかい面)は体圧分散性を備え、ハード面(かたい面)はからだをしっかりと支える硬さを有すること
2-3-3	ポリエステル繊維とウレタンフォームのハイブリット®四層構造であること
2-3-4	カバー®は防水・低透湿加工を施し清拭消毒を可能とし、抗菌加工が施されていること
2-3-5	カバー®の四隅には、シーツ等を固定するためのリバーシブルで使用可能なリネストッパー®を配置し、シーツ等の張りすぎによる体圧分散性の低下を防ぐことが可能であること
2-3-6	寸法はW780mm×L1,910mm×T120mm以下であること
2-3-7	ソフト面とハード面で認識可能なよう生地はツートン色であること
2-3-8	生地は抗菌(MRSA)・難燃・防水機能を有し、伸縮加工を施したポリエステル繊維100%によるニット品で、表面にポリウレタンフィルム®を有すること
2-3-9	表面のポリウレタンフィルム®は平滑性を有し、ベッドギャッチ®時に発生する擦れ音が減少されること
2-3-10	詰め物の出し入れとカバー®交換を可能とするため、ファスナー®を有すること。ファスナー部からの浸水を防ぐために、ファスナーには止水加工が施されていること
2-3-11	持ち運び用に片側長手1箇所を取っ手を有すること
2-3-12	難燃性の詰め物を採用していること
2-3-13	ソフト面側からウレタン層2層、ポリエステル層、ウレタン層と4層構造であること
2-3-14	ポリエステル層はポリエステル繊維100%のシート層を連続的に折りたたみ加工した、曲がりやすい構造体の厚みを半切したものであり、背部、臀部、脚部にスリット加工®を施し体圧分散性に配慮したクッション材®であること
2-3-15	ソフト面側から2層目の幅方向両端部にはポリエステル層®を配置し、端坐位安定性を有すること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	リハビリテーション室
調達機器名	下肢荷重計
調達数量	一式

１．機器の構成(一式の構成)

１－１	下肢荷重計	1台
１－２	タブレット端末	1台

２．構成品の仕様

２－１	下肢荷重計は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	専用靴、信号送信機による構成であること
2-1-2	適応サイズは22～29cmの範囲以上であること
2-1-3	専用靴は片側のみセンサーを有すること
2-1-4	専用靴は全3色(グレー、ベージュ、ピンク)より選択可能であること
2-1-5	患者自身の靴のまま専用靴を脱着する仕様であること
2-1-6	専用靴はマジックテープによる脱着が可能であること
2-1-7	電源は単4電池(3本)であること
2-1-8	荷重測定精度は±10%以下であること
2-1-9	スマートフォンまたはタブレットなどの端末と接続することが可能であること
2-1-10	接続方式はBluetooth 4.0以上であること
2-1-11	対応OSはAndroid 9.0以上であること
2-1-12	Android用アプリは、Google Playよりインストールすることが可能であること
2-1-13	荷重量の変化を色や音の変化によって、リアルタイムで接続端末にて確認することが可能であること
2-1-14	ユーザー登録と過去のリハビリ結果を確認する機能を有すること
2-1-15	目標荷重の設定をする機能を有すること
２－２	タブレット端末は、以下の要件を満たすこと
2-2-1	寸法はW155mm×D10mm×H245mm以下であること
2-2-2	質量は550g以下であること
2-2-3	OSはAndroid 12相当以上であること
2-2-4	プロセッサはMediaTek MT8768相当以上であること
2-2-5	ディスプレイは10.0型ワイドIPSパネル相当以上であること
2-2-6	メインメモリは3GB以上であること
2-2-7	フラッシュメモリは32GB以上であること
2-2-8	microSDスロットを搭載していること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセッアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと

仕 様 書

厚生病院

部署・部屋名	胸部外科
調達機器名	LEDライトシステム
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	LEDライトシステム	1台
1-2	眼鏡用クリップ	1個
1-3	眼鏡用ヘッドバンド	1本
1-4	ヘッドバンド	1個

2. 構成品の仕様

2-1	LEDライトシステムは、以下の要件を満たすこと
2-1-1	コントロールユニット(本体)、LEDレンズモジュール、バッテリー、操作リモコン、操作リモコン充電専用アダプタ、延長ケーブル、充電器、USB電源ケーブル、ペアリングピンによる構成であること
2-1-2	コントロールユニット(本体)は、以下の要件を満たすこと
2-1-2-1	寸法はW75mm×D10mm×H55mm以下であること
2-1-2-2	質量は40g以下であること
2-1-2-3	電源のON/OFF、LED照明調節の操作が可能であること
2-1-3	バッテリーパックは、以下の要件を満たすこと
2-1-3-1	寸法はW75mm×D25mm×H55mm以下であること
2-1-3-2	質量は130g以下であること
2-1-3-3	本体への電源供給が可能であること
2-1-4	操作リモコンは、以下の要件を満たすこと
2-1-4-1	寸法はW35mm×D30mm×H90mm以下であること
2-1-4-2	質量は60g以下であること
2-1-4-3	電源のON/OFF、LED照明調節の操作が可能であること
2-1-5	LEDレンズモジュールは、以下の要件を満たすこと
2-1-5-1	寸法はφ17.5mm以下、L800mm以上であること
2-1-5-2	質量は75g/1個以下であること
2-1-5-3	LED光源を発光させることが可能であること
2-1-5-4	LED色温度は6000K以上であること
2-1-5-5	LED波長は400～700(Visible)の範囲以上であること
2-1-5-6	LED寿命は50,000時間以上であること

2-1-5-7	光源素子はHight Power LEDであること
2-1-5-8	WD40mあたりの視野は、φ66mm以上であること
2-1-5-9	WD40mあたりの照度は、12,000Lux以上であること
2-1-5-10	3時間以上の作動が可能であること
2-1-6	延長ケーブルは、以下の要件を満たすこと
2-1-6-1	寸法はL800mm以上であること
2-1-6-2	質量は20g以下であること
2-1-6-3	コントロールユニットとレンズモジュールを接続するケーブルであること
2-2	眼鏡用クリップは、以下の要件を満たすこと
2-2-1	一般の眼鏡に装着可能であること
2-3	ヘッドバンドは、以下の要件を満たすこと
2-3-1	ソフトタイプであること

3. その他

3-1	機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
3-1-1	入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
3-1-2	本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
3-1-3	当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
3-1-4	システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
3-1-5	本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
3-1-6	本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
3-1-7	納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
3-1-8	故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
3-1-9	納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
3-1-10	新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと